

eお菓子ねっと データ・ガイドライン

1.	「 共通事項 」	- 1 -
2.	「 発注データ 」	- 8 -
3.	「 出荷報告データ 」	- 14 -
4.	「 請求・支払データ 」	- 22 -
5.	「 販売報告データ 」	- 31 -

第Ⅰ版(ver1.5)作成	2014. 02. 25
第Ⅱ版(ver2.1)作成	2015. 01. 15
第Ⅲ版(ver3.1)作成	2016. 11. 11

I. はじめに

このガイドラインは、卸売業・メーカー間において、企業間EDIシステムを実施するにあたり、両者間での運用をスムーズに行い、システムを標準化することにより、流通の合理化を進めるためのものである
このガイドラインの各項目の内容および使用方法、運用時の基準と標準化のためのチェックポイントとして活用し、業界標準に基づいた企業間EDIシステムの実現に役立つ事を期待する

1. 受発注システム とは

発注者・受注者間の注文内容を、従来の電話・FAX・伝票によるものから、コンピュータによる通信手段に変え、双方の業務の効率化、注文にかかわる時間の短縮、および人間によるミスの防止をねらいとするシステムである

- | | |
|-----------|----------------------------|
| ① 発注データ | 発注者から受注者への商品の発注情報の伝達データ |
| ② 在庫予定データ | 受注者から発注者への商品の在庫・欠品情報の伝達データ |
| ③ 受領データ | 発注者から受注者への商品の受領情報の伝達データ |
| ④ 返品通知データ | 発注者から受注者への商品の返品情報の伝達データ |

2. 出荷請求システム とは

受注者から発注者への納品内容を、従来の伝票によるものから、コンピュータによる伝達方法に変え、双方の業務の効率化(受注者は伝票作成、伝票送付；発注者は納品伝票の確認等)人間によるミスの防止をねらいとするシステムである

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ① 出荷報告データ | メーカーから卸売業への出荷報告の伝達データ |
| ② 請求データ | メーカーから卸売業への請求案内の伝達データ |
| ③ 支払データ | 卸売業からメーカーへの支払結果の伝達データ |

3. 販売実績(販売報告)システム とは

卸売業よりメーカーへの小売店からの販売実績報告書を、従来の帳票(実績報告書)からコンピュータによる通信手段に変え、双方の業務の効率化、処理方式の標準化をねらいとするシステムである

- | | |
|-----------|----------------------------|
| ① 販売報告データ | 卸売業からメーカーへの小売店への販売実績の伝達データ |
|-----------|----------------------------|

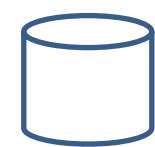
4. 販売促進金システム とは

メーカー・卸売業・小売間にて、販売促進企画(プロモーション)を取り決めた際、販売促進金精算を伴う販売促進条件設定がある場合、販売条件の提示、販売条件の精算(請求・支払)を正確かつ迅速に行い、メーカー・卸売業双方の事務処理を軽減するためのシステムである

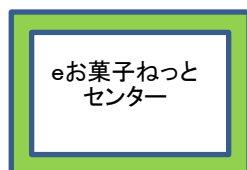
- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| ① 販促金案内・支払データ | メーカーから卸売業へ販促金条件の提示(案内)、支払結果の伝達データ |
| ② 販促金請求データ | 卸売業からメーカーへ販促金請求の伝達データ |

II. データの受け渡し方法

1. オンライン(EDI)



<卸売業/メーカー>



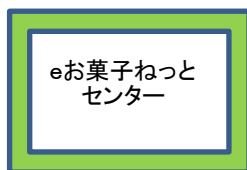
<通信手段>

- ・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
- ・次世代インターネット手順
(インターネット利用(ebXML MS/JX))
- ・JCA/全銀BASIC(電話回線)(期間限定)

2. オンライン(Web2008)



<卸売業/メーカー>

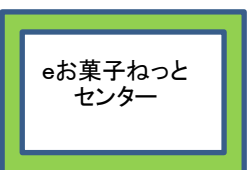


- ・インターネット利用(Web)

3. FAX受信システム



<メーカーのみ>



- ・FAX受信(電話回線(公衆/ISDN))
(データ化は不可能)

4. eお菓子ねっとセンターの機能

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① 受け渡し手段の調整が出来る | (異なる媒体のデータの受け渡しが可能) |
| ② データの変換が出来る | (V1⇔V2フォーマット変換等が可能) |
| ③ データの保全機能がある | (通信トラブル対応等が可能) |

III. 運用方法

1. トラブルと対策

(1) ハード

- ① オフライン(電話・FAX等の手作業他)による出荷対応も出来るよう体制を整える
- ② 入力作業の為の時間を要する為、締め時間等変更すること等を考慮する
- ③ 事情により双方の営業間で、運用を検討する必要がある

(2) データ

- ① 他社のデータを受信した場合
 - ・ eお菓子ねっとセンターに連絡すると同時に、相手方(送信元)に連絡する
- ② データが読めない場合(システム変更時等の場合)
 - ・ 受信側のシステム担当者が、eお菓子ねっとセンターに連絡し、対応を決める
- ③ データの必須項目が埋まっていない場合
 - ・ データ準備時にフォーマットの必須項目を確認し、テストを十分に行う
 - ・ データのセット内容に不備がある場合は、V2フォーマットではエラーとなる場合があるので新規導入時や拡大時には、注意が必要である (導入支援機能を有効に活用する)
- ④ コードにアンマッチがある場合
 - ・ データ作成時にコードの管理マスタを参照し、アンマッチが出ないように確認する
- ⑤ データの送信側は、データを再作成出来るよう考慮しておく (コントロール→トレーラー単位が望ましい)
- ⑥ 実際の受信件数とオンライン情報として得た送信件数を確認し、データ漏れのチェックを怠らない

2. 運用

(1) 訂正方法

- ① 伝達方法、訂正方法について、前もって企業毎に確認をしておく
- ② eお菓子ねっとセンターのトラブル連絡
 - ・ eお菓子ねっとホームページ掲示による連絡
 - ・ 障害FAXの発信と受信
- ③ 日付・漏れ・ダブリ等のミスに気付いた場合には、直ちにデータ交換の相手方に連絡し、その対処方法を明確にする
- ④ 受発注システムの確認項目は、次のものが挙げられる
発注日、納品日、卸伝票No、届先、商品名、入数、発注数量 等
- ⑤ 出荷請求システムで、次の項目にミスがあった場合には、データ提供者が赤・黒(伝票単位での取消データと訂正データ)訂正を行い、当該データの受け渡し日を明確にする (二重訂正の防止)
(帳合先、取引先、商品、数量、単価、金額、出荷区分 等)

(2) 機密保護

- ① ユーザーとeお菓子ねっとセンター間で、パスワードを設定し、パスワード相違が発生した場合は、通信が出来ないようにして、データの安全性を確保する
- ② パスワードに関しては、双方が責任をもって厳重な管理を行う必要がある
また、パスワードの設定についても、接続開始時に慎重に決定する必要がある
- ③ eお菓子ねっとセンターは、機密を遵守する

(3) データのセットについて

- ① 指定がある場合を除き、Xタイプの項目は左詰め、残りはスペースをセットする
「X項目は漢字コード区分および日本語区分に応じたスペース(半角/全角)をセットする」
※ 1つの項目の中で、「半角」と「全角」の混在セットは認めない。
ex. 漢字コード区分 日本語区分(二次店) 二次店名
1:S-JIS 0(英数カナ) X' 20' 埋め
1:S-JIS 1(漢字) X' 8140' 埋め
3:JEF 0(英数カナ) X' 40' 埋め
3:JEF 1(漢字) X' 4040' 埋め
- ② 9タイプの項目は右詰め、残りは“0”で左詰めでセットする (例) ” 00000900”
- ③ データのセットを行わない場合には、Xタイプの項目には、半角スペースまたは全角スペースを、9タイプの項目には、必要桁数に、“0”を埋める (例) ” 00000000”
- ④ 年号
年号は、手形期日等を除き、西暦年号を原則とする (例 2015 年)
- ⑤ 漢字の使い方
J I Sコード第一水準、第二水準以外 は使用しない
※ 範囲外の文字コードがセットされた場合、受信側では文字化けが発生するなど、非常に大きな業務影響が出る
指定されたコード範囲以外の文字コードの利用は一切禁止とする
(もし、コード範囲以外の文字コードが利用された場合は、“?”文字に変換される)
※ V2フォーマットのEDIデータのセット時は、漢字のシフト・コードは省略する
※ 漢字データは、拠点別データ種毎にセンターに利用漢字コードを登録することにより、自社の利用漢字コードに変換して受信することが可能となる。(未登録時は、S-JISとなる)
- ⑥ 明細データのセットを行わない場合(販売報告データの横持ちの設定要領)
⇒無効な明細は明細全体をスペースにセットする
ex. 2明細まで有効 → 3明細目~5明細目は全体を半角スペースをセットする

IV. 標準コードについて

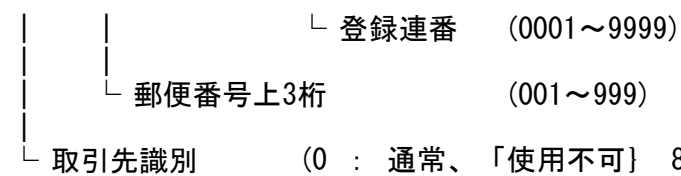
※ 各システムで利用するコードは、業界で制定された標準コードを原則とする

1. 統一取引先コード(8桁)

(eお菓子ねっと専用)

<利用項目>

X - X X X - X X X X



<送信元、送信先、直接送信先>
 <一次店、二次店、三次店>
 <届け先、チェーン店>

上8桁に取引先コードをセット
 下5桁はスペースをセット

<登録手続き>

- (1) 登録申請による登録
 - ・拠点用統一取引先コードは、eお菓子ねっとセンターにて、登録申請を行う
- (2) Web2008システムによる登録
 - ・取引先マスター照会・登録により、卸売業が原則として登録する
- (3) オンライン(EDI)による登録
 - ・取引先コード照会データによる申請に基づき、eお菓子ねっとセンターにて1日単位で、登録作業にて登録する

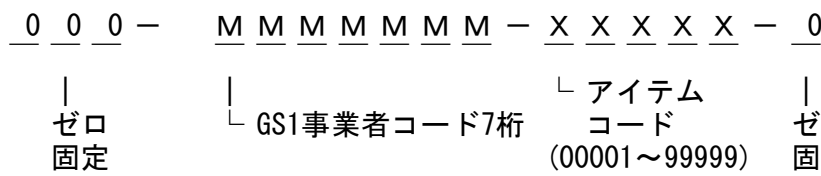
2. 統一商品コード(16桁)

(eお菓子ねっと専用)

<品番で利用>

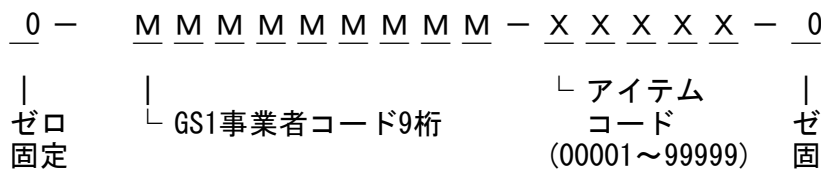
(eお菓子ねっとセンターでは、商品マスター管理はしない)

<GS1事業者コード(JAN企業コード)7桁の場合>



例) 0004912345010010
 000mmmmmmmmxxxxx0

<GS1事業者コード(JAN企業コード)9桁の場合>



例) 0459712345010010

<登録手続き>

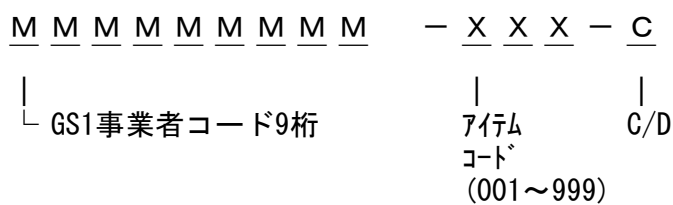
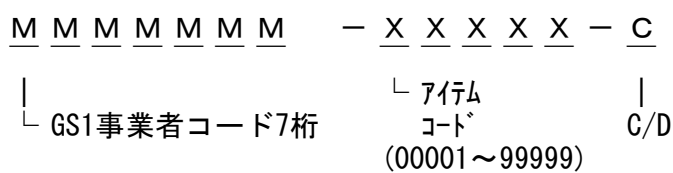
- (1) GS1事業者コード(JAN企業コード)
 - ・流通システム開発センター(GS1)に、原則メーカーが登録し、3年毎に登録更新を行う(有料)
- (2) アイテムコード
 - ・メーカーの企業内で管理する商品識別コード(4年間は再利用しない)
 (メーカーのプライベート・コード)

3. JANコード(13桁/8桁)

(GTIN-13 / GTIN-8)

(流通業界共通)

<標準JAN(13桁)>



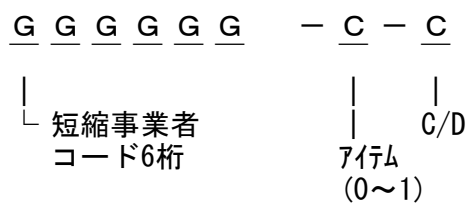
※ JANコードとは、日本の共通商品コードとして流通情報システムの重要な基盤であるJANコードはバーコード(JANシンボル)として商品などに表示されPOSシステムをはじめ、受発注システム、棚卸、在庫管理システム等に利用され、さらに公共料金等の支払システムへの利用など利用分野の拡大がみられます

- ・上13桁に標準JANをセット
- 下3桁にスペースをセット

※ C/D : チェック・デジット
 4 9 1 2 3 4 5 0 8 7 6 7 - 6
 x x x x x x x x x x x x

- ① 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3
- ② 4 27 1 6 3 12 5 0 8 21 6 21 → 総和 114
- ③ (10-総和の下1桁) 10-4 6

<短縮JAN(8桁)>



- ・上8桁に短縮JANをセット
- 下8桁にスペースをセット

<登録手続き>

- (1) GS1事業者コード(JAN企業コード) および 短縮JAN事業者コード
 - ・流通システム開発センター(GS1)に、原則メーカーが登録し、3年毎に登録更新を行う(有料)
- (2) アイテムコード
 - ・メーカーの企業内で管理する商品識別コード(4年間は再利用しない)

4. **ITFコード**(14桁) (GTIN-14) (流通業界共通)

< 標準JAN > < 品番で利用 >

P - M M M M M M M M - I I I I I - C

└ GS1事業者コード7桁 └ アイテムコード (00001~99999) └ C/D

P - M M M M M M M M M M - I I I - C

└ GS1事業者コード9桁 └ アイテムコード (001~999) └ C/D

< 短縮JAN >

P - 0 0 0 0 0 - G G G G G G - I - C

└ GS1事業者コード6桁 └ アイテムコード (0~1) └ C/D

集合包装用商品コード(GTIN-14)とは、企業間の取引単位である集合包装(ケース、ボール、パレットなど)に対し設定された商品識別コードで、バーコードシンボル化され主に、受発注や納品、入出荷、仕分け、棚卸管理等において商品識別コードとして使われる

- ・上14桁に、ITF14桁をセット
- 下2桁にスペースをセット

P : パッケージ・インジケータ
 同一JAN商品で、主に、物流管理として、別管理する時
 1~7 : 外箱(ケース)用
 8 : 内箱(ボール)用
 0 : JANコード用
 9 : 計量商品用

5. **GTINコード**(14桁) (Global Trade Item Number) (流通業界共通)

GS1が定めた国際的な標準商品識別コードです < 品番で利用 >

JAN と 集合包装用商品コード(ITF)を 包含している

- ・GTIN-8 000000+GTIN-8 <短縮JAN>
- ・GTIN-13 0+GTIN-13 <標準JAN>
- ・GTIN-14 GTIN-14 <ITF(14桁)>

- ・上14桁にGTINをセット
- 下2桁にスペースをセット

6. **GLNコード**(13桁) (Global Location Number) (流通業界共通) <三次店等で利用 >

GLNは、EDI(企業間電子データ交換)等に利用できる国際標準の企業・事業所コードです
 GLNはGS1が制定し、国内および国際間の企業間取引で、相互に企業や事業所等を唯一に識別できるコードです

M M M M M M M M - L L L L L - C G G G G G G G G G G G - L L - C

└ GS1事業者コード7桁 └ ロケーションコード (00001~99999) └ C/D └ GLN専用事業者コード10桁 └ ロケーションコード (01~99) └ C/D

M M M M M M M M M M - I I I - C G G G G G G G G G G G G - L - C

└ GS1事業者コード9桁 └ ロケーションコード (001~999) └ C/D └ GLN専用事業者コード11桁 └ ロケーションコード (0~9) └ C/D

V. 実施の為のステップ

システム導入にあたってデータの提供者利用者双方で下記のような基本作業項目を検討し、稼働の為のソフトウェア、ハードウェアおよび運用の方法について、詳細の詰めを行う

1. 対象データの確定

全取引データを対象か、限定か、提供可能な範囲などを、メーカー・卸売業毎に、事前に確定しておく

- ・地域 全国、特定地域
- ・事業所 全事業所、特定事業所、特定出荷倉庫、特定企業、特定店舗、メーカー側、卸側
 おのおのの事業所について検討 品種 全品種、特定品種、特定商品
- ・内容 全取引、倉入、倉出、直送、一斉出荷、特売、定番、ルートセールス、集計データ、日別データ

2. マスター登録

社内コードとデータ交換に使用されるコードを照合し、正しい情報伝達が行えるよう自社のマスターファイルを整理しておく

- ・商品コード コード設定が1:Nになっている場合は、現在販売している商品とする
 データ交換の内容と自社マスターの内容に相違がないか確認をしておく(商品名、入数、取引単価etc)
- ・取引先コード データ交換の内容と自社マスターの内容に相違がないか確認をしておく(取引先名、担当部門etc)
- ・登録・変更案内 新規コードの発生や登録内容の変更の連絡方法を明確にしておく(連絡手段、時期、担当部門etc)

3. データ受け渡し時間帯の決定

メーカー・卸売業毎に、各システム別に地域、業務内容の相違点を考慮して決定をする

4. スケジュール調整

稼働に至るまでの準備やテストのスケジュールと、稼働後現在のやり方と異なる作業の流れを、周知徹底させる

5. 約束事の文書化(契約書、覚書)

運用基準書の内容により、企業間にて打合せた約束事を確認する意味で、文書化を行っておく

- ・データ交換内容 対象データ、対象企業、データ守秘義務
- ・集計単位 明細、日計、週計、旬計、月計 etc
- ・提供日と取引日の関係 休業日の対応 土曜日曜、祝祭日、年末年始
- ・トラブル対応、実施期間、開始時期、契約期間
- ・その他具体的運用に関する事項、コスト負担他

6. 連絡窓口

各企業担当窓口を明確にしてスムーズな運営を目指し、トラブル発生時に協力して解決に当たる

- ・データ項目の内容の問い合わせ、トラブル発生時の原因究明、対策実施

VI. 各データの共通事項

1. フォーマットの定義の説明

項番	項目連番
項目	項目名
開始位置	その項目のレコードの中の相対位置 (1~1200)
属性	項目の属性 9 : 数値属性 X : 半角文字属性 X/N : 半角文字/全角文字属性
整数桁	数値属性の場合：整数値の桁数 それ以外の場合：実行桁数(全角の場合は、シフトコードは除く)
小数桁	数値属性の場合：小数点以下の桁数
必須	◎ : システム的必須 データのセットが必要(ゼロはエラーとなる) ○ : 業務的必須 データのセットが必要(ゼロはエラーとならない) 空白 : 任意 必要な場合のみ、データをセットするが、属性クリアーは必要 (X項目の属性クリアー : 半角スペースまたは全角スペースをセットする) (9項目の属性クリアー : 9項目は指定桁分ゼロをセットする)
コード	その項目が、”コード値”定義の場合のコード値を説明
V2 → V1・V2 センタチェック	必須+属性、属性 必須項目、または、属性チェックを行う 必須+コード、コード 必須項目、または、コード・チェックを行う 必須+日付、日付 必須項目、または、日付チェックを行う 時刻 時刻チェックを行う センタ登録：送信先・送信元・直接送信先等、センター登録有りをチェックする
V2 ← V2 コンバート	○ データ連携する ※センター設定 センターで代替設定する ※センター集計値 センターで集計して値を設定する
V2 ← V1 コンバート	○ データ連携する 属性初期値 属性初期値(数値：ゼロ、文字：スペース)をセットする ※センター設定 センターで代替設定する それ以外 データ条件により、記述の通り、セットする
V1フォーマット	
比較・変更点	◎ : 新設項目 ○ : 変更項目と変更点
項番	V1フォーマット上の項番
項目	V1フォーマット上の項目名
開始	V1フォーマット上の開始位置
属性	V1フォーマット上の項目属性
整数	V1フォーマット上の項目の桁数(数値は整数の桁数)
小数	V1フォーマット上の小数点以下の桁数

2. レコード長

- ・V1フォーマット 256 バイト
- ・V2フォーマット 1200 バイト

3. 取引先の取引形態

< 一次店コード~チェーンコードの利用形態 >

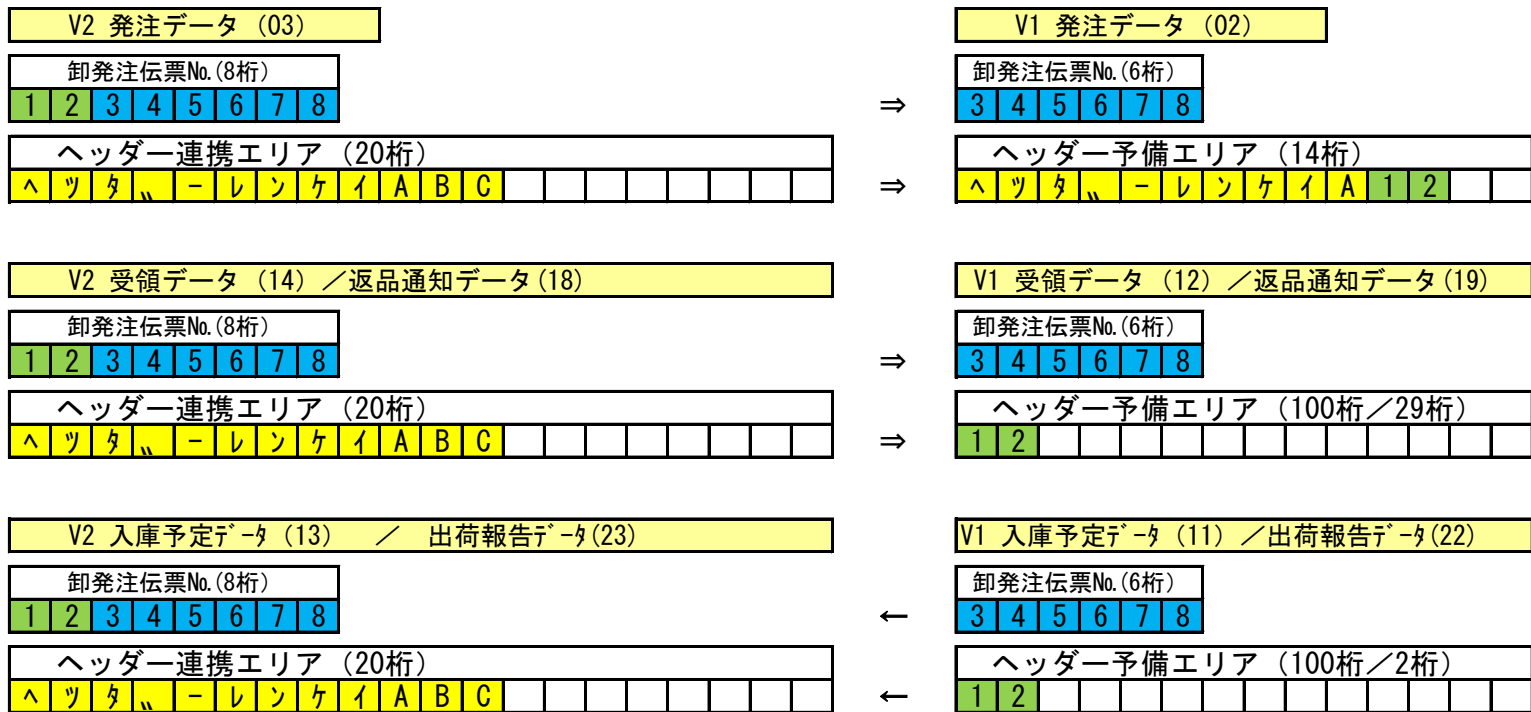
	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)
① 店入れ(倉入れ) A卸売業本社に直接納品する	A卸売業			A卸売業	
	メカの請求先				
② 店入れ(倉入れ-倉庫) A卸B倉庫に直接納品する	A卸売業			A卸B倉庫	
	メカの請求先				
③ 店入れ(卸支店倉入れ) A卸B支店に直接納品する	A卸売業			A卸B支店	
	メカの請求先				
④ 店入れ(センター納品) C納品センターに一括納品する	A卸売業		C納品センター	A卸B支店	
	メカの請求先		センター納品	A卸B支店扱い	
⑤ 直送(二次店納品) D二次店に直送納品する	A卸売業	D二次店		D二次店	
	メカの請求先	A卸の請求先			
⑥ 直送(二次店デポ納品) E二次店デポに直送納品する	A卸売業	D二次店		E二次店デポ	
	メカの請求先	A卸の請求先			

⑦ 直送 (三次店納品) F三次店に直送納品する	A卸売業 メカの請求先	D二次店 A卸の請求先	F三次店 D二次店請求先	F三次店	
⑧ 直送 (三次店デポ納品) G三次店デポに直送納品する	A卸売業 メカの請求先	D二次店 A卸の請求先	F三次店 D二次店請求先	G三次店デポ	
⑨ 直送 (二次スーパー店舗) H二次/J店舗に直送納品する	A卸売業 メカの請求先	D二次店 A卸の請求先		H二次スーパー	J店舗
⑩ 直送 (二次スーパー店舗) K納品センター一括納品する	A卸売業 メカの請求先	D二次店	K納品センター センター納品	H二次スーパー	J店舗

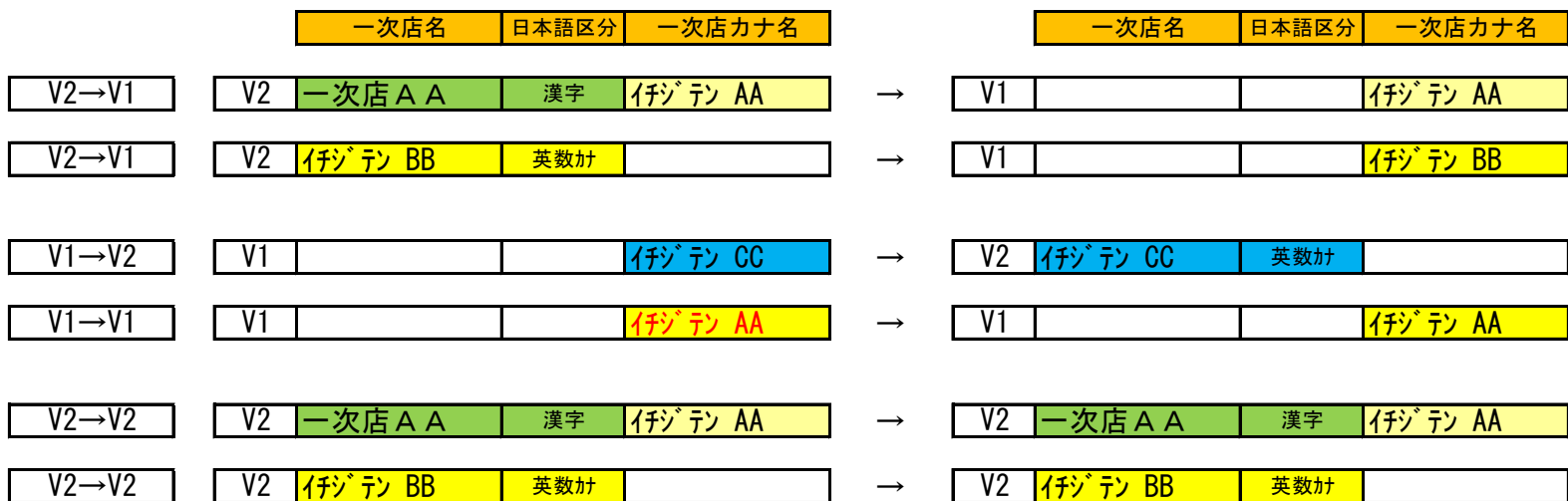
4. 主な変更項目の説明

- ① 卸発注伝票No. (6桁→8桁に変更) 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする
8桁運用 V 1フォーマットは上2桁と下6桁を分離する
- ② メーカー伝票No. (6桁→8桁に変更) 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする
8桁運用 V 1フォーマットは下6桁のみをセットする
- ③ 元伝票No. (6桁→8桁に変更) 6桁運用 上2桁はゼロ埋めとする
8桁運用 V 1フォーマットは下6桁のみをセットする
- ④ 漢字コード区分
1 : S-JIS
2 : JIS
3 : JEF
4 : IBM
拠点取引先/データ種毎に、e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分がセットされてくる
(未登録の場合のデフォルト値)
- ⑤ 日本語区分
該当の項目の日本語の区分を指定する
△/0 : 英数カナを指定 または 無指定
1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による)
- ⑥ 取引先区分
該当の項目の取引先の属性区分を指定する
△ : 統一取引先コードを指定 または 無指定
6 : GLNコードを指定
7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定
8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- ⑦ 店入直送区分
店(倉)入れまたは直送等を判断する
1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等
2 : 直送 二次店納品等
3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合
4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合
- ⑧ 伝票合計金額
二次店納入合計金額
(※ 最終明細行のみセットでも良い)
(※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)
- | 明細行数 | 伝票合計金額 | 明細行No. | 卸店入金額 |
|------|----------|--------|----------|
| 1明細目 | 00000000 | 01 | 00005800 |
| 2明細目 | 00000000 | 02 | 00007800 |
| 3明細目 | 00000000 | 03 | 00012500 |
| 4明細目 | 00036600 | 04 | 00010500 |
- ⑨ 消費税区分
消費税の税区分を指定する
1 : 外税 3 : 非課税
2 : 内税 △ : 個別判断
※ もし、明細によって、消費税区分が変わる場合は、異なっても良いこととする
(1明細目:1(外税)、2明細目:3(非課税)、3明細目:1(外税))
- ⑩ 商品添付区分
相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合
△ : 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる)
1 : 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる)
2 : 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる)
3 : 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)
- ⑪ 卸最新在庫日付
入庫許容日付 製造年月日 : 製品を製造した西暦年月日 (ex. 20140118)
実入庫製品日付 賞味期限(日) : 製品を製造した日+賞味期限(日換算)した西暦年月日
(20140118製造+賞味期限(45日)→20140304)
賞味期限(月) : 製品を製造した日+賞味期限(月換算)した西暦年月日
(20140118製造+賞味期限(9ヶ月-1末)→20140930)

⑫ 卸伝票No. (8桁) の V1 ⇔ V2 データ連携



⑬ 漢字⇔カナ項目の連携方法



5. データ種一覧表

No.	データ種類	V1	V2	
データ種類	発注データ	02	03	
	入庫予定データ	11	13	
	受領データ	12	14	
	返品通知データ	19	18	
	出荷報告(直送)データ	22	23	
	請求データ	33	35	※33⇔35間のV2⇔V1変換は条件付きで行う
	支払データ	34	36	※33⇔35間のV2⇔V1変換は条件付きで行う
	販売報告(店出し)データ	42	43	
	販促金案内支払データ	51	-	
	販促金請求データ	52	-	

※請求・支払のV1⇔V2変換は、
V2フォーマットで、伝票(集計)単位の時のみ行う

I. システムの目的

1. メーカー

- ① 受注出荷業務の効率化
 - ・受注入力作業の省力化・標準化・正確化
- ② 需給・物流作業の効率化
 - ・大量のデータが一括して入手出来る為、商品需給・物流配送を効率化できる
- ③ 情報の一元管理
 - ・受注⇒出荷⇒配送⇒納品⇒請求⇒決済を一元的に管理出来る

2. 卸売業

- ① 発注業務の省力化
 - ・自動発注システム等の活用で、大幅に発注業務を軽減化できる
- ② 情報の一元管理
 - ・発注⇒入庫⇒仕入⇒受領⇒支払を一元的に管理出来る

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より、発注データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数のメーカー宛に送信が可能である)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の発注データを受け取る
(1回の受信で、複数の卸売業からの発注データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
 - ・次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))
 - ・Web2008システム(インターネット利用)
 - ・FAX受信システム(データ化は不可能)

2. データの授受

- ・通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内にメーカーが受信可能となる
(ピーク時間帯は、最大60分程度要する)

3. 欠品連絡または訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる再発注か、納品日の訂正か、分割納品か、運用を決める
- ・原則として、欠品連絡表(FAX・メール)等で連絡する

4. 運用確認事項

- ① 受注締め時間
 - ・メーカーの受注締め時間の確認と出荷日の確認
 - <締め時間が11時の場合>
 - ・「当日の出荷日」の発注データは、納品日が翌日迄で、前日迄の受信済分と当日の締め時間(11時)迄に、メーカーが受信したもの
 - ・「翌日の出荷日」の発注データは、納品日が翌々日迄で、当日迄の受信分と翌日の締め時間(11時)迄に、メーカーが受信したもの
- ② 納品場所、納品条件
 - ・届け先名への納品か、センター一括納品か
 - ・土・日・祝祭日の納品条件
 - ・納品時間指定条件
 - ・欠品・訂正連絡方法、分割納品が可能か
 - ・トラブル時の連絡方法、
 - ・商品コード変更・商品案内の伝達方法
 - ・納品日の変更か、再発注かの取り決めを事前に確認しておく
 - ・納品日(メーカー売上計上日)は、一次納品先(センター等)を原則とする。

Ⅲ. 発注データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	発注データであることを表わす	[02 : 発注データ] [03 : 発注データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	卸売業が発注データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]	V1/V2
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	卸売業が発注データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]	V2
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イズモ ショクビン トウキョウ]	V1/V2
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウヅ]	V1/V2
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する (※センター登録チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100011] [00000000]	V1/V2
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[イズモ ショクビン 材カ]	V1/V2
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]	V2
(12) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	V2

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	発注データであることを表わす	[02 : 発注データ] [03 : 発注データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカー)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2 : ヘッダーレコード] [4 : 明細レコード] [3 : ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (数字 1桁)	○お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が セットされてくる (1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M)		V2
(6) 卸発注伝票No. (数字 8桁)	卸売業が発注データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな発注No.をセットする 卸発注伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00"をセットする	(8桁) (6桁)	V2
卸伝票NO (数字6桁)	V1フォーマットでは、卸伝票NO6桁とヘッダー予備欄(13桁目・14桁目)2桁に 卸発注伝票No.8桁の上2桁を連携する		V1
(7) 店入直送区分 (数字 1桁)	店(倉)入れまたは直送等を判断する 1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等 2 : 直送 二次店納品等 3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、3→1に自動変換する) 4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、4→2に自動変換する)		V1/V2 V1/V2 V2 V1 V2 V1
(8) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-メーカー間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード) 11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 21 : 店入返品 店入れ分の返品 31 : 直送売上 直送分の通常出荷 41 : 直送返品 直送分の返品 51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 12 : 店入売上訂正 22 : 店入返品訂正 32 : 直送売上訂正 42 : 直送返品訂正 52 : 相殺		V1/V2
(9) 納品日/引取日 (数字 8桁)	卸売業が指定した納品日(着荷日) (西暦) 卸売業がメーカーに引取りに来る引取日	[20161102]	V1/V2
(10) 納入時間(自) (数字 4桁)	卸売業が指定した納品/引取開始時間(時分)	[0000] [0900]	V1/V2

(11) 納入時間(至) (数字 4桁)	卸売業が指定した納品／引取完了時間(時分)	[0000] [1130]	V2
(12) 発注日 (数字 8桁)	卸売業の発注日を指定する (西暦)	[20161101]	V2
(13) 明細行数 (数字 2桁)	1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数(00, 01~06)	[01]	V1/V2
(14) 一次店コード (文字13桁)	卸売業の請求取引先コード		V1/V2
(15) 二次店コード (文字13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード		V1/V2
(16) 三次店コード (文字13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード センター納品する場合のセンターの取引先コード (プライベートコード可)		V2
(17) 届け先コード (文字13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード		V1/V2
(18) チェーン店コード (文字13桁)	店舗コード (プライベートコード可)		V2

	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)
・店入れ(倉入れ)	A卸売業			A卸売業	
・店入れ(卸支店倉入れ)	A卸売業			A卸B支店	
・店入れ(センター納品)	A卸売業		(納品センター)	A卸C支店	
・直送(二次店デポ納品)	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送(三次店デポ納品)	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送(二次スーパー店舗)	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送(二次スーパー店舗) (センター納品)	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	△	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)	※一次店／二次店／届け先は 統一取引先コードのみ
		中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001~999)	
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001~9999)	
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(491234500001c)	※三次店／チェーンは GLNコード/ プライベートコード可能
		事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)	
卸プライベートコード	7		3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
メーカープライベートコード	8		3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

※ V2⇄V1データ変換連携

	[V2フォーマット 13桁]	→	[V1フォーマット 8桁]	
統一取引先コード	1 2 3 4 5 6 7 8		1 2 3 4 5 6 7 8	
GLNコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13		6 7 8 9 10 11 12 13	(GLNコードのみ右詰め)
卸プライベートコード	1 2 3 4 5 6 7		1 2 3 4 5 6 7	
メーカープライベートコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10		1 2 3 4 5 6 7 8	

(19) 専用伝票日付 (数字 8桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票日付を指定 (西暦)	[20161015] [00000000]	V1/V2
(20) 専用伝票No. (数字 9桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の専用伝票No.を指定	[000012345] [000000000]	V1/V2
(21) 伝票合計金額符号 (文字 1桁)	伝票合計金額の符号 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(22) 伝票合計金額 (数字 8桁)	明細の卸店入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)	[00000000] [00354850]	V1/V2
(23) 二次店納入合計金額符号 (文字 1桁)	二次店納入合計金額の符号 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(24) 二次店納入合計金額 (数字 8桁)	明細の二次店納入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)	[00000000] [00274520]	V1/V2
(25) 一次店名 (文字 40桁)	一次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		V1/V2 V2
(26) 二次店名 (文字 40桁)	二次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		V1/V2 V2
(27) 三次店名 (文字 40桁)	三次店名(センター納品先名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		V2 V2
(28) 届け先名 (文字 40桁)	届け先名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		V1/V2 V2

(29) チェーン店名 (文字 40桁)	チェーン店名(店舗名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		V2 V2
(30) 電話番号 (文字 15桁)	届け先の電話番号を指定する(“-”を含む)		V2
(31) 住所 (文字 80桁)	届け先の住所を指定する 英数カナ(60文字) 漢字の場合は、実質は30文字	[シマネン マツエシ アバ`ダイ 2-11-1] [島根県松江市青葉台2-11-1]	V2 V2
(32) メーカー・コード (文字 9桁)	メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx /45xxxxxxxx)	[4912345] [459123456]	V1/V2
(33) メーカー所属組織名 (英数カナ 10桁)	メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定 (実質、運用上はスペースが多い)		V1/V2
(34) 伝票区分 (数字 1桁)	伝票発行区分を指定する 0 : 菓子統一伝票 1 : フェンストア統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票No.が印刷されていないもの) 2 : 専用伝票(伝票No.あり) (専用伝票No.を表示できるもの) 3 : 専用伝票(伝票No.なし) (専用伝票だが、元伝No.を表示できないもの) 4 : フェンストア統一伝票 (ターアカウント用) 8 : 伝票レス (伝票レス納品の場合)	[0]	V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V2
(35) 定番特売区分 (文字 1桁)	定番発注/特売発注を指定する 0 : 定番 △ : 分類不能 1 : 特売	[1]	V1/V2 V2
(36) ロット不足運賃負担区分 (文字 1桁)	発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 △ : 無指定 1 : 卸売業負担あり 2 : 卸売業負担なし	[]	V2
(37) 下請法 : 伝票表示区分 (文字 1桁)	下請法関係の伝票表示の有無区分 △ : 表示なし 1 : 表示あり	[]	V2
(38) 下請法 : 伝票表示内容 (文字 80桁)	下請法関係の伝票表示内容を指定する 英数カナの場合(80文字) 漢字の場合は、実質は40文字(伝票表示上)		V2
(39) 下請法 : 日本語区分(表示) (文字 1桁)	下請法関係の伝票表示内容の日本語区分を指定する △/0 : 英数カナ 1 : 漢字(S-JIS/IBM/JEF/JIS)	[]	V2
(40) 下請法 : 支払期限 (数字 8桁)	下請法関係の支払期限を指定する (西暦)	[00000000] [20161130]	V2
(41) 消費税区分 (文字 1桁)	消費税の税区分を指定する 1 : 外税 3 : 非課税 2 : 内税 △ : 個別判断	[1]	V2
(42) 消費税率 (数字3桁)	消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) "050" : 消費税 : 5.0 %	[080]	V2
(43) 摘要 (文字 50桁)	伝票ヘッダー部の適用文字を指定する 英数カナ(50文字) 漢字の場合は、実質は25文字	[オンライン トクデンアリ ゴゼンチュウ ニ ノヒン] [オンライン特伝有り 午前中に納品]	V1/V2 V2
(44) 取引先区分 (文字 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定 6 : GLNコードを指定 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定	[]	V2
(44) 取引先区分(一次店)			
(45) 取引先区分(二次店)			
(46) 取引先区分(三次店)			
(47) 取引先区分(届け先)			
(48) 取引先区分(チェーン店)			
(49) 日本語区分 (文字 1桁)	※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする 該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)	[]	V2
(49) 日本語区分(一次店)			
(50) 日本語区分(二次店)			
(51) 日本語区分(三次店)			
(52) 日本語区分(届け先)			
(53) 日本語区分(チェーン店)			
(54) 日本語区分(住所)			
(55) 日本語区分(摘要)			
(56) 一次店カナ名 (文字 30桁)	前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(57) 二次店カナ名 (文字 30桁)	前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(58) 届け先カナ名 (文字 30桁)	前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(59) 摘要カナ (文字 30桁)	前記「摘要」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(60) ヘッダー予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(61) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に V1フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリア(20桁)を連携する V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2

(62)	明細行No. (数字 2桁)	1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01~06)	[01]	V1/V2															
(63)	専用伝票行No. (数字 2桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する (00~30)	[00]	V1/V2															
(64)	商品コード識別区分 (数字 1桁)	次の品番(商品コード)の識別区分を指定する	[品番へのセット値例]	V1/V2															
<table border="1"> <tr> <td>0</td> <td>統一商品コード メーカーコードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカーコードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム5桁]+[0]</td> <td>[0004912345100010] [0491234567200020]</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ITFコード(14桁) メーカーコードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]</td> <td>[14912345100013] [14912345671018]</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>JANコード(標準:13桁) メーカーコードが7桁の場合 [メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]</td> <td>[4912345100030] [4912345672032]</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>JANコード(短縮:8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]</td> <td>[49778816]</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>G T I Nコード(14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN(短縮:8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]</td> <td>[14912345100013] [14912345671018] [04912345100030] [04912345672032] [00000049778816]</td> </tr> </table>					0	統一商品コード メーカーコードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカーコードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]	1	ITFコード(14桁) メーカーコードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018]	3	JANコード(標準:13桁) メーカーコードが7桁の場合 [メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030] [4912345672032]	4	JANコード(短縮:8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[49778816]	6	G T I Nコード(14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN(短縮:8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018] [04912345100030] [04912345672032] [00000049778816]
0	統一商品コード メーカーコードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[0] メーカーコードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]																	
1	ITFコード(14桁) メーカーコードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018]																	
3	JANコード(標準:13桁) メーカーコードが7桁の場合 [メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] メーカーコードが9桁の場合 [メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030] [4912345672032]																	
4	JANコード(短縮:8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[49778816]																	
6	G T I Nコード(14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] JAN(短縮:8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018] [04912345100030] [04912345672032] [00000049778816]																	
(65)	品番 (文字 16桁)	上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする		V1/V2															
(66)	商品名 (文字 50桁)	商品名を表記する (規格表示+商品固有名称) (英数カナ:25文字) (伝票上:24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート] (漢字:20文字) (伝票上:12文字/行) [X X 75 g ミルクチョコ]		V1/V2 V2															
(67)	包装区分 (数字 1桁)	数量の発注単位を指定する 1: ケース発注 (外箱/カルトン) 2: ボール発注 (内箱) 3: バラ発注 (単品)	[1]	V1/V2															
(68)	ボール内バラ数 (数字 6桁)(小数点以下2桁)	ボール(内箱)内の単品の入数 (小数点以下2桁)	[001200]	V1/V2															
(69)	ケース内ボール数 (数字 2桁)	ケース(外箱)内のボール(内箱)の入数 <ボール内バラ数> <ケース内ボール数> (1: ケース発注の時) [001200] [06] (2: ボール発注の時) [001200] [00] (3: バラ発注の時) [000000] [00]	[06]	V1/V2															
(70)	数量符号 (文字 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2															
(71)	ケース数量 (数字 7桁)	(1: ケース発注の時に、発注ケース数量を指定する) (ボール/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002]	V1/V2															
(72)	ボール数量 (数字 7桁)	(2: ボール発注の時に、発注ボール数量を指定する) (ケース/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000000]	V1/V2															
(73)	バラ数量 (数字 9桁)(小数点以下2桁)	(3: バラ発注の時に、発注バラ数量を指定する) (ケース/ボール発注の時に、バラ換算数量を指定する)	[000014400]	V1/V2															
(74)	卸店入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	卸売業納入単価(建値)を指定する→伝票金額 (バラ単価を指定)	[00008400]	V1/V2															
(75)	二次店納入価格 (数字 8桁)(小数点以下2桁)	二次店納入単価(正味単価等)を指定する→正味金額 (バラ単価を指定)	[00008050]	V1/V2															
(76)	金額符号 (文字 1桁)	以下の金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2															
(77)	卸店入金額 (数字 8桁)	(卸店入価格*バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常:外税)	[00012096]	V1/V2															
(78)	二次店納入金額 (数字 8桁)	(二次店納入価格*バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常:外税)	[00011592]	V1/V2															
(79)	商品添付区分 (文字 1桁)	相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 △: 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる) 1: 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる) 2: 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる) 3: 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)	[]	V2															
(80)	入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する (一般品の場合は、00または01をセットする)	[00]	V2															
(81)	卸発注行番号 (数字 2桁)	卸売業での発注伝票行No. (00, 01~99)	[00] [10]	V2															
(82)	納入単価表示区分 (文字 1桁)	在庫型センター等の納入時に、単価/金額を表示したくない時に指定する △: 表示 1: 非表示	[]	V2															
(83)	卸最新在庫日付区分 (文字 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する (相対運用) △: 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 [] 1: 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 [1] 2: 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 [2]	[] [1] [2]	V2															

(84) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回迄に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 卸最新在庫日付を製造日で指定する [20160401] 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で指定する [20170301] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20170331]	V1/V2
(85) 入庫許容日付区分 (文字 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 入庫許容日付運用をしない場合 [] 1 : 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 [1] 2 : 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 [2]	V2
(86) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する 未使用 入庫許容日付の運用をしない場合 [00000000] 製造日 入庫許容日付を製造日で指定する [20160401] 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で指定する [20170301] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20170331]	V2
(87) 温度管理区分 (文字 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する △/0 : 常温 [] 1 : 28℃以下 [1] 2 : 20℃以下 [2] 3 : 冷蔵(10℃以下) (チルド:5℃以下) [3] 4 : 冷凍(-15℃以下) [4]	V2
(88) 摘要 (文字 50桁)	明細行に対する摘要の文字を指定する 英数カナ(50文字) [イブ シギレ] 漢字の場合は、実質は25文字 [一部品切れ]	V2
(89) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 [] 1 : 漢字を指定 [1] (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)	V2
(89) 日本語区分(商品名)		
(90) 日本語区分(商品名)		
(91) 菓子業界商品分類コード (文字 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JIGFSの機能分類コードとして登録) を指定する [132335]	V2
(92) 商品名カナ (文字 25桁)	前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する (英数カナ:25文字) (伝票上:24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]	V2
(93) 明細予備	原則、スペース・クリアーとする	V1/V2
(94) 明細部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に V1フォーマットの明細レコードの予備エリア(3桁)を連携する V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	V2

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	発注データであることを表わす [02:発注データ] [03:発注データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(メーカ)の拠点取引先コードを指定 [01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(卸売業)拠点取引先コードを指定 [02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす [9]	V1/V2
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く) [000135]	V1/V2
(6) 伝票枚数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数 [000035]	V1/V2
(7) 合計金額符号 (文字 1桁)	合計金額の符号 △/+ : 整数 (プラス) [+] - : 負数 (マイナス)	V1/V2
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する [0000984500]	V1/V2
(9) 予備	原則、スペース・クリアーとする	V1/V2
(10) 連携エリア (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	V2

I. システムの目的とねらい

出荷報告データは、発注データと比べ、下記の点で異なるので注意する

- ・一括処理情報である
- ・受発注システムに比べて緊急性が低い
- ・取引確定データである

1. 卸売業は、出荷報告データを下記の業務に利用し、事務の合理化を図る事ができる

- ① 直送売上請求データの作成
- ② 得意先へのお荷案内書(データ含む)の作成
- ③ 為替手形付取引の入金データ自動作成(一部企業)
- ④ 割戻しデータの自動作成(一部企業)
- ⑤ 直送仕入れデータの作成
- ⑥ 請求支払照合データの自動作成
- ⑦ 自社倉入れデータとの照合

2. メーカーは出荷報告データを提供する事により、下記の事ができる

- ① 出荷案内書の廃止(業態による)
- ② 請求明細書の廃止(請求支払照合自動化企業)
- ③ 利用者は出荷報告データの蓄積を行う

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② メーカーより、出荷報告データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数の卸売業宛への送信が可能である)
- ③ 卸売業は、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の出荷報告データを受け取る
(1回の受信で、複数のメーカーからの出荷報告データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
 - ・次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))
 - ・Web2008システム(インターネット利用)

2. データの授受

- ・通常、メーカーからeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内に、卸売業が受信可能となる
(ピーク時間帯は、最大60分程度要する)

3. 訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める(できれば、追加訂正を原則とする)

4. 運用確認事項

- ① データの提供
 - ・卸売業での実績把握・請求処理を早くする為、原則、日次処理で行い、出荷日を含め3日以内に提供する
 - ・双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を定める
 - ・請求締切日最終データの提供日を明確にする
 - ・1日分のデータが2日に別れて提供される場合がある
 - ・一括データ(何日間かのデータをまとめる)の提供もあり得る
 - ・利用者との休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、締日間際は注意する
- ② テスト方法
 - ・出荷案内書との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 出荷案内書の廃止範囲の明確化
 - ・[店入]と[直送]の明確化
 - [店入直送区分]に明示された内容と取引実態が一致しているか
 - ・出荷報告データの内容の充実
 - 出荷案内書の摘要欄、専用伝票情報表示、物流情報の表示を、出荷報告データに反映出来るか
- ④ 運用ルールを明確にする
 - (1) データ作成時期
 - ・直送データ・・・利用者または得意先から受けた注文に対して納品確認のとれた後、速やかに作成する
 - ・倉入データ・・・受注データに対して納品に応じられるデータは、出荷指図確認後、速やかに作成する
 - (2) コード管理
 - 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
 - (3) トラブル対応
 - 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
 - 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
 - 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータ照合を行い、問題解決する

- ⑤ 請求明細書の廃止
- ・卸売業では請求支払の照合業務の効率化の一環として、支払照合の自動化を進めており、照合率のアップが急務の課題であり、出荷報告データの精度を向上し、照合率の向上を図り、重複する[請求明細書]の作成、および送付を廃止するように、メーカー・卸売業で検討を行う事が望ましい
 - ・出荷報告データの内容は[請求明細書]と同一とする
 - ・卸売業の請求支払照合率の向上は、照合のキーとなる発注No.、出荷伝票No.、元伝票No.・元伝年月日などの自動照合に必要な項目をセットする
 - ・卸売業での不照合の要因には、訂正対象となる元伝票が分からない(照合キーが一致しない)ことが多い
メーカーは、卸売業の発注No.、元伝票No.、元伝年月日を必ず、出荷報告データにセットする
- ⑥ 卸売業買掛金照合システムの構築
- ・照合用データとして、日々のお荷報告データを照合処理を実施する締日まで蓄積する
 - ・照合システムの構築
(蓄積した出荷報告データと自社の買掛データとの締日毎の照合はコンピュータシステムで行う)

Ⅲ. 出荷報告データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[22 : 出荷報告データ] [23 : 出荷報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	メーカーが出荷報告データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]	V1/V2
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	メーカーが出荷報告データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]	V2
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]	V1/V2
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イズモ ショクベン トウキョウ]	V1/V2
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録チェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100022] [00000000]	V1/V2
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[ニホン ショウジ 材サカ] []	V1/V2
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]	V2
(12) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[22 : 出荷報告データ] [23 : 出荷報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2 : ヘッダーレコード] [4 : 明細レコード] [3 : ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (文字 1桁)	e お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が (未登録は2 : JIS) セットされてくる (1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M)		V2
(6) 卸発注伝票No. (数字 8桁)	卸売業が発注データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな発注No.をセットする	(8桁)	V2
卸伝票NO (数字6桁)	卸発注伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00" をセットする (6桁) V1フォーマットでは、卸伝票NO6桁とヘッダー予備欄(2桁)に 卸発注伝票No.8桁の上2桁を連携する		V1
(7) メーカー伝票No. (数字 8桁)	メーカーが出荷データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな出荷No.をセットする	[00101011]	V2
伝票NO (数字 6桁)	メーカーが出荷報告データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな出荷No.をセットする	[101011]	V1

(8) 店入直送区分 (数字 1桁)	店(倉)入れまたは直送等を判断する 1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等 2 : 直送 二次店納品等 3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、3→1に自動変換する) 4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、4→2に自動変換する)	[1]	V1/V2 V1/V2 V2 V1 V2 V1																																								
(9) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-メーカー間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード) 11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 21 : 店入返品 店入れ分の返品 31 : 直送売上 直送分の通常出荷 41 : 直送返品 直送分の返品 51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 12 : 店入売上訂正 22 : 店入返品訂正 32 : 直送売上訂正 42 : 直送返品訂正 52 : 相殺 売上相殺する場合	[11]	V1/V2																																								
(10) 取引年月日 (数字 8桁)	卸売業に納品された日(卸売業への着荷日) 卸売業がメーカーに引取りに来た引取日	(西暦) [20160926]	V1/V2																																								
(11) 出荷年月日 (数字 8桁)	メーカーが実出荷した日(メーカーの出荷日) 卸売業がメーカーに引取りに来た引渡日	(西暦) [20160925]	V2																																								
(12) 着荷予定日 (数字 8桁)	卸売業に着荷する予定日(着荷日)	(西暦) [20160925]	V2																																								
(13) 納入予定時間 (数字 4桁)	卸売業に、納品出来る予定時間	(時分) [0830]	V2																																								
(14) 倉庫コード (文字 4桁)	メーカーの出荷倉庫を識別したい場合	(相対利用) [1825]	V2																																								
(15) 伝送区分 (文字1桁)	請求・支払データを伝送する場合のデータの発生区分 1 : 全部送信 (出荷報告提供済データも送る) 2 : 違算分送信(前残再請求分データ) △ : 無指定	[1]	V2																																								
(16) 出荷報告以外区分 (文字1桁)	請求・支払データの作成の時、出荷報告データとの関係を指定する 0 : 提供(出荷報告提供済データ) 1 : 未提供(出荷報告未提供データ) 2 : 再請求(前残再請求分データ) △ : 無指定	[0]	V2																																								
(17) 集計明細区分 (文字1桁)	請求・支払データを明細または伝票集計での作成区分 △ : 明細単位で作成 1 : 伝票(集計)単位で作成	[]	V2																																								
(18) 請求締日 (数字 8桁)	提供企業(メーカー)の請求最終締日(西暦) (休日を無視しても可能)	[20161031]	V2																																								
(19) 請求口座 (文字10桁)	提供企業(メーカー)の請求口座コードを指定 (提供企業が設定、4~10桁で指定する)	[12345678]	V2																																								
(20) 請求支払区分 (数字2桁)	請求・支払データのデータの発生区分を指定する 00 : 今回分請求・今回分支払 10 : 前回分請求・今回未払分 20 : 請求控除・支払控除	[00]	V2																																								
(21) 明細行数 (数字 2桁)	1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数(00, 01~06) (伝票集計単位の時でも、[01]を指定する)	[04]	V1/V2																																								
(22) 一次店コード (文字13桁)	卸売業の請求取引先コード	[02100001]	V1/V2																																								
(23) 二次店コード (文字13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード	[03510011]	V1/V2																																								
(24) 三次店コード (文字13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード センター納品する場合のセンターの取引先コード (プライベートコード可)	[08510021] [1100]	V2																																								
(25) 届け先コード (文字13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード	[02100001]	V1/V2																																								
(26) チェーン店コード (文字13桁)	店舗コード (プライベートコード可)	[1011]	V2																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th><一次店></th> <th><二次店></th> <th>(三次店)</th> <th><届け先></th> <th>(チェーン店)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A卸売業</td> <td></td> <td></td> <td>A卸売業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A卸売業</td> <td></td> <td></td> <td>A卸B支店</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A卸売業</td> <td></td> <td>(納品センター)</td> <td>A卸C支店</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A卸売業</td> <td>C二次店</td> <td></td> <td>C二次店デポ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A卸売業</td> <td>C二次店</td> <td>D三次店</td> <td>D三次店デポ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A卸売業</td> <td>C二次店</td> <td></td> <td>D二次スーパー</td> <td>E店舗</td> </tr> <tr> <td>A卸売業</td> <td>C二次店</td> <td>(納品センター)</td> <td>D二次スーパー</td> <td>E店舗</td> </tr> </tbody> </table>	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)	A卸売業			A卸売業		A卸売業			A卸B支店		A卸売業		(納品センター)	A卸C支店		A卸売業	C二次店		C二次店デポ		A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ		A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗		
<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)																																							
A卸売業			A卸売業																																								
A卸売業			A卸B支店																																								
A卸売業		(納品センター)	A卸C支店																																								
A卸売業	C二次店		C二次店デポ																																								
A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ																																								
A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗																																							
A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗																																							
・店入れ(倉入れ)																																											
・店入れ(卸支店倉入れ)																																											
・店入れ(センター納品)																																											
・直送(二次店デポ納品)																																											
・直送(三次店デポ納品)																																											
・直送(二次スーパー店舗)																																											
・直送(二次スーパー店舗) (センター納品)																																											

<取引先コード定義>

統一取引先コード	△	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)	※一次店/二次店/届け先は統一取引先コードのみ
		中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001~999)	
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001~9999)	
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(491234500001c)	※三次店/チェーンはGLNコード/プライベートコード可能
		事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)	
卸プライベートコード	7		3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
メーカープライベートコード	8		3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

※ V2⇔V1データ変換連携

[V2フォーマット 13桁]

[V1フォーマット 8桁]

統一取引先コード
GLNコード
卸プライベートコード
メーカープライベートコード

1	2	3	4	5	6	7	8					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	2	3	4	5	6	7						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			

1	2	3	4	5	6	7	8
6	7	8	9	10	11	12	13
1	2	3	4	5	6	7	
1	2	3	4	5	6	7	8

(GLNコードのみ右詰め)

(27) 専用伝票日付 (数字 8桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の日付	(西暦)	[20160926]	V1/V2
(28) 専用伝票No. (数字 9桁)	専用伝票がある場合の専用伝票No.		[123456789]	V1/V2
(29) 元伝年月日 (数字 8桁)	メーカーが訂正した元の伝票のメーカー出荷年月日(西暦) <V1: 元伝日付>		[20160914]	V1/V2
(30) 元伝No. (数字8桁)	メーカーが訂正した元の伝票のメーカー伝票No.		[00123456]	V1/V2
(31) 伝票合計金額符号 (文字 1桁)	伝票合計金額の符号 [△] / [+] : 正符号 [-] : 負符号		[+]	V1/V2
(32) 伝票合計金額 (数字 8桁)	明細の卸店入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行: ゼロ、04明細行: 合計をセットする)		[00094500]	V1/V2
(33) 二次店納入合計金額符号 (文字 1桁)	二次店納入合計金額の符号 [△] / [+] : 正符号 [-] : 負符号		[+]	V1/V2
(34) 二次店納入合計金額 (数字 8桁)	明細の二次店納入金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行: ゼロ、04明細行: 合計をセットする)		[00082035]	V1/V2
(35) 一次店名 (文字 40桁) <V1: 一次店カナ名>	一次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		[イヌモ ショクヒン トキョウ] [出雲商事 東京]	V1/V2 V2
(36) 二次店名 (文字 40桁) <V1: 二次店カナ名>	二次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		[マツエ ショウテン] [松江商店]	V1/V2 V2
(37) 三次店名 (文字 40桁)	三次店名(センター納品先名)を指定する 英数カナの場合(30文字) <届け先カナ名> 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		[ヤスキ ストア] [安来ストア]	V2 V2
(38) 届け先名 (文字 40桁) <V1: 届け先カナ名>	届け先名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		[マツエ ショウテン Aソコ] [松江商店 A倉庫]	V1/V2 V2
(39) チェーン店名 (文字 40桁)	チェーン店名(店舗名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)		[シンジ コテン] [宍道湖店]	V2 V2
(40) 電話番号 (文字 15桁)	届け先の電話番号を指定する(”-”を含む)		[0852-92-3199]	V2
(41) 住所 (文字 80桁)	届け先の住所を指定する 英数カナ(60文字) 漢字の場合は、実質は30文字		[シマネン マツエシ アバダイ 2-11-1] [島根県松江市青葉台2-11-1]	V2
(42) 摘要 (文字 50桁) <V1: 摘要欄>	伝票ヘッダー部の摘要の文字を指定する 英数カナ(50文字) 漢字の場合は、実質は25文字		[オンライン トクケンアリ ゴゼンチュウ ニ ノウヒン] [オンライン特伝あり 午前中に納品]	V1/V2 V2
(43) メーカー・コード (文字 9桁)	メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx /45xxxxxxxx)		[4912345] [459123456]	V2
(44) メーカー所属組織名 (英数カナ文字 10桁)	メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定 (実質、運用上はスペースが多い)		[マツエ シテン]	V1/V2
(45) 伝票区分 (数字 1桁)	伝票発行区分を指定する 0: 菓子統一伝票 1: フェンストア統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票No.が印刷されていないもの) 2: 専用伝票(伝票No.あり) (専用伝票No.を表示できるもの) 3: 専用伝票(伝票No.なし) (専用伝票だが、元伝No.を表示できないもの) 4: フェンストア統一伝票 (ターアラウンド用) 8: 伝票レス (流通BMS等で、伝票レス納品の場合)		[0]	V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V1/V2 V2

- (46) 登録店区分 (文字 1桁) メーカー登録店区分を指定する [0] V1/V2
 △ : 無指定
 0 : 登録店以外
 1 : 登録店
- (47) 定番特売区分 (文字 1桁) 定番発注/特売発注を指定する [0] V1/V2
 0 : 定番
 1 : 特売
 △ : 分類不能
- (48) 消費税区分 (文字 1桁) 消費税の税区分を指定する [1] V2
 1 : 外税
 2 : 内税
 3 : 非課税
 △ : 個別判断
- (49) 消費税率 (数字3桁) 消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) [080] V2
 "050" : 消費税 : 5.0 %
- (50) ロット不足運賃負担区分 (文字 1桁) 発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 [] V2
 △ : 無指定
 1 : 卸売業負担あり
 2 : 卸売業負担なし
- (51) 取引先区分 (文字 1桁) 該当の項目の取引先の属性区分を指定する [] V2
 △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定
 6 : G L Nコードを指定
 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定
 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定
- (51) 取引先区分(一次店)
 (52) 取引先区分(二次店)
 (53) 取引先区分(三次店)
 (54) 取引先区分(届け先)
 (55) 取引先区分(チェーン店) ※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする
- (56) 日本語区分 (文字 1桁) 該当の項目の日本語の区分を指定する [] V2
 △ / 0 : 英数カナを指定 または 無指定
 1 : 漢字を指定
 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による)
 (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)
- (56) 日本語区分(一次店)
 (57) 日本語区分(二次店)
 (58) 日本語区分(三次店)
 (59) 日本語区分(届け先)
 (60) 日本語区分(チェーン店)
 (61) 日本語区分(住所)
 (62) 日本語区分(摘要)
- (63) 一次店カナ名 (文字 30桁) 前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する V2
- (64) 二次店カナ名 (文字 30桁) 前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する V2
- (65) 届け先カナ名 (文字 30桁) 前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する V2
- (66) 摘要カナ (文字 30桁) 前記「摘要」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する V2
- (67) ヘッダー予備 原則、スペース・クリアーとする V1/V2
- (68) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁) V 1フォーマット⇔V 2フォーマットに変換された場合にも予備エリアの連携は行わない
 V 2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である V2
- (69) 明細行No. (数字 2桁) 1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01~06) [01] V1/V2
 <V1 : 行N0>
- (70) 専用伝票行No. (数字 2桁) 専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する [00] V1/V2
 (00~30)
- (71) 商品コード識別区分 (数字 1桁) 次の品番(商品コード)の識別区分を指定する [品番へのセット値] V1/V2

0	統一商品コード メーカーコードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[0] [0004912345100010] メーカーコードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム5桁]+[0] [0491234567200020]
1	I T Fコード(14桁) メーカーコードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [14912345100013] メーカーコードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [14912345671018]
3	J A Nコード(標準: 13桁) メーカーコードが7桁の場合 [メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [4912345100030] メーカーコードが9桁の場合 [メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [4912345672032]
4	J A Nコード(短縮: 8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] [49778816]
6	G T I Nコード(14桁) ITF : メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [14912345100013] ITF : メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [14912345671018] JAN : メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [04912345100030] JAN : メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [04912345672032] J A N (短縮: 8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] [00000049778816]

- (72) 品番 (文字 16桁) 上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする V1/V2
- (73) 商品名 (文字 50桁) 商品名を表記する (規格表示+商品固有名称)
 (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート] V1/V2
 (漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [X X 75 g ミルクチョコ] V2

(74) 包装区分 (数字 1桁)	数量の発注単位を指定する 1 : ケース発注 (外箱/カルトン) 2 : ボール発注 (内箱) 3 : バラ発注 (単品)	[1] [2] [3]	V1/V2
(75) ボール内バラ数 (数字 6桁) (小数点以下2桁)	ボール(内箱)内の単品の入数 (小数点以下2桁)	[001200]	V1/V2
(76) ケース内ボール数 (数字 2桁)	ケース(外箱)内のボール(内箱)の入数 <ボール内バラ数> <ケース内ボール数> (1 : ケース発注の時) [001200] [06] (2 : ボール発注の時) [001200] [00] (3 : バラ発注の時) [000000] [00]	[06] <バラ換算数量> [ケース数×72] [ボール数×12] [バラ数×1]	V1/V2
(77) 数量符号 (文字 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(78) ケース数量 (数字 7桁)	(1 : ケース発注の時に、発注ケース数量を指定する) (ボール/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]	V1/V2
(79) ボール数量 (数字 7桁)	(2 : ボール発注の時に、発注ボール数量を指定する) (ケース/バラ発注の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]	V1/V2
(80) バラ数量 (数字 9桁) (小数点以下2桁)	(3 : バラ発注の時に、発注バラ数量を指定する) (ケース/ボール発注の時に、バラ換算数量を指定する)	[0000010] [0000120]	V1/V2
(81) 卸店入価格 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	卸売業納入単価(建値)を指定する→伝票金額 (バラ単価を指定)	[00008400]	V1/V2
(82) 二次店納入価格 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	二次店納入単価(正味単価等)を指定する→正味金額 (バラ単価を指定)	[00007800]	V1/V2
(83) 金額符号 (文字 1桁)	以下の金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(84) 卸店入金額 (数字 8桁)	(卸店入価格×バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常：外税)	[00010800]	V1/V2
(85) 二次店納入金額 (数字 8桁)	(二次店納入価格×バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常：外税)	[00009360]	V1/V2
(86) 商品添付区分 (文字 1桁)	相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 △ : 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる) 1 : 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる) 2 : 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる) 3 : 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)	[]	V1/V2
(87) 欠品区分 (数字 2桁)	商品の出荷状況を指定する 00 : 正常 01 : 品切れ (一部、欠品は除く) 02 : 終売 (終売のため、欠品とする) 03 : 未発売 (未発売のため、欠品とする) 04 : コード訂正 (別コード商品で出荷)	[00]	V2
(88) 入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する (一般品の場合は、00または01をセットする)	[0] [3]	V2
(89) 単価計算区分 (文字 1桁)	単価×数量の計算方法を指定する(小数点以下端数の計算処理方法) △ : 切り捨て 1 : 切り上げ 2 : 4捨5入	[]	V2
(90) 卸発注行番号 (数字 2桁)	卸売業での発注伝票行No.を指定 (00, 01~99)	[] [07]	V2
(91) 卸最新在庫日付区分 (文字 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 1 : 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合	[] [1] [2]	V2
(92) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回迄に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20161018] [20171018] [20171031]	V2
(93) 入庫許容日付区分 (文字 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 入庫許容日付運用をしない場合 1 : 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合	[] [1] [2]	V2
(94) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する (相対運用) 未使用 入庫許容日付の運用をしない場合 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定)	[00000000] [20170118] [20150118] [20150131]	V2
(95) 実入庫製品日付区分 (文字 1桁)	実入庫製品日付の日付区分を指定 (相対運用) △ : 未使用 実入庫した製品日付運用をしない場合 1 : 製造日 実入庫した製品の日付を製造日で表記する場合 2 : 賞味期限 実入庫した製品の日付を賞味期限で表記する場合	[] [1] [2]	V2

(96) 実在庫製品日付 (数字 8桁)	メーカーが実在庫した製品の日付を指定する(相対運用) 未使用 実在庫した製品日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 実在庫した製品の日付を製造日で指定する [20170118] 賞味期限 実在庫した製品の日付を賞味期限で指定する [20150118] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20150131]		V2
(97) 製造ロット番号 (文字10桁)	実在庫した製品のロット番号を指定する (相対運用)	[2016053103]	V2
(98) 温度管理区分 (文字 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する △/0 : 常温 1 : 28℃以下 2 : 20℃以下 3 : 冷蔵(10℃以下) (チルド: 5℃以下) 4 : 冷凍(-15℃以下)	[]	V2
(99) 製品容器区分 (文字 1桁)	該当商品の製品・容器かを指定する △/0 : 製品 1 : 容器	[]	V2
(100) 外箱 G T I Nコード (文字 14桁)	実際に入庫する外箱の I T Fコードを指定する [14912345000016] ケースの場合 : ケースの G T I Nをセットする ボールの場合 : ボールの G T I Nをセットする (運用上、単品 G T I Nでも可)		V2
(101) 摘要 (文字 50桁)	明細部の摘要の文字を指定する 英数カナ(50文字) [ｲﾌﾞ ｹｯﾋﾟﾝ ｱﾘ] 漢字の場合は、実質は25文字 [一部欠品あり]		V2
(102) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)		V2
(102) 日本語区分(商品名)			
(103) 日本語区分(摘要)			
(104) 菓子業界商品分類コード (文字 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する [132335]		V2
(105) 割戻1(2/3) : 割戻計算区分 (文字 1桁)	割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分 △ : 切り捨て [131011] 1 : 切り上げ [] 2 : 4捨5入		V2
(106) 割戻1(2/3) : 割戻区分 (文字 1桁)	割戻の条件区分を指定する (相対で運用) △ : 指定なし [1] 1~9 : 相対でコード設定する	[]	V2
(107) 割戻1(2/3) : 割戻基準 (文字 1桁)	割戻の基準の区分を指定する (相対で運用) △ : 割戻率 [1] 1 : 割戻単価 2 : 割戻金額	[]	V2
(108) 割戻1(2/3) : 割戻率/単価 (数字6桁)	(少数点以下2桁) (相対で運用) 割戻率 : 割戻率を右詰めで指定 [4. 5%] [000450] 割戻単価 : 割戻単価を銭単位で指定 [3. 6円] [000360] 割戻金額 : ゼロを指定 [000000]		V2
(109) 割戻1(2/3) : 割戻符号 (文字 1桁)	割戻金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) [+] - : 負数 (マイナス)		V2
(110) 割戻1(2/3) : 割戻金額 (数字8桁)	割戻金額を円単位で指定 (相対で運用) (割戻計算結果を金額で指定 (円単位)) [00000125]		V2
(111) 割戻1(2/3) : 割戻コード (文字 5桁)	割戻の種類を表示する時に指定す(相対で運用) 運賃補助の種類、キャンペーン・コード等を指定 [1101] [1]		V2
(112) ~ (118)	割戻1に同じ		V2
(119) ~ (125)	割戻1に同じ		V2
(126) 商品名カナ (文字 25桁)	前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する (英数カナ : 25文字) (伝票上 : 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]		V2
(127) 明細予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(128) 明細部(連携エリア) (英数カナ文字 10桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に V1フォーマットの明細レコードの予備エリア(4桁)を連携する V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	出荷報告データであることを表わす	[22 : 出荷報告データ] [23 : 出荷報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす	[9]	V1/V2
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く)	[000545]	V1/V2
(6) 伝票枚数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数	[000120]	V1/V2
(7) 合計金額符号 (文字 1桁)	合計金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する	[0001200650]	V1/V2
(9) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(10) 連携エリア (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇄V2フォーマットに自動変換された場合に 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	V2

I. システムの目的とねらい

- ・ 請求データは、メーカーから卸売業に対する請求書の内容をデータで月次に提供するもので、卸売業は自社の買掛情報との照合に役立てることができます
- ・ 支払データは、卸売業からメーカーに対する支払通知の内容をデータで月次に提供するもので、メーカーは自社の売掛情報との照合に役立てることができます

1. 卸売業は、請求・支払をシステム化することにより、事務の合理化を図ることができる

- ① 卸売業の「買掛データ」と「請求照合データ」または「請求鑑データ」を自動照合することにより、違算のチェックが効率良く迅速にできます
- ② 違算のチェックが効率良く迅速にできるために、メーカーとのアンマッチの原因を効率的・迅速的に把握することができます。
- ③ 卸売業は、メーカーに支払データを送ることにより、メーカーの支払事務の迅速化が図られて、違算処理や振込作業の効率化・迅速化につながります

2. メーカーは、請求・支払をシステム化することにより、事務の合理化を図ることができる

- ① 「請求（照合・鑑）データ」を送信することは、請求書の送付と同じことなので請求書の郵送が不要となります
- ② 郵送が不要になることで請求書の発行、仕訳、郵送作業に費やす時間とコストが削減できます
- ③ メーカーは、支払データを受け取ることにより、違算処理や振込作業の効率化・迅速化につながります

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② メーカーより請求データ(卸売業より支払データ)をeお菓子ねっとセンターに送信する(1回の送信で、複数の卸売業宛への送信が可能である)
- ③ 卸売業(メーカー)は、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の請求データ(支払データ)を受け取る(1回の受信で、複数のメーカーからの請求データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・ 全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
 - ・ 次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))
 - ・ Web2008システム(インターネット利用)

2. データの授受

- ・ 通常、メーカー(卸売業)からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ15分以内に、卸売業が受信可能となる(ピーク時間帯は、最大60分程度要する)

3. 訂正連絡

- ・ 一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・ データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める(できれば、追加訂正を原則とする)

4. 運用確認事項

- ① データの提供
 - ・ 卸売業・メーカーでの請求・支払事務を効率化する為、原則、月次処理で行い、月初、5日以内に提供する
 - ・ 双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を定める
 - ・ 請求締切日最終データの提供日を明確にする
 - ・ 1月分のデータが2回以上に別れて提供される場合がある
 - ・ 利用者との休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、締日間際は注意する
- ② テスト方法
 - ・ 出荷報告データ等との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 運用ルールを明確にする
 - (1) データ作成時期
 - ・ 請求データ・・・月次売掛確定した後、速やかに作成する
 - ・ 支払データ・・・仕入確定確認後、速やかに作成する
 - (2) コード管理
 - 利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
 - (3) トラブル対応
 - 提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
 - 利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
 - 送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータ照合を行い、問題解決する
- ④ 請求書の廃止
 - ・ 卸売業では請求支払の照合業務の効率化の一環として、支払照合の自動化を進めており、照合率のアップが急務の課題であり、請求データの精度を向上し、照合率の向上を図る
 - ・ 請求データの内容は[請求書]と同一とする(請求書レスの推進化)
 - ・ 卸売業の請求支払照合率の向上は、照合のキーとなる卸発注伝票No.、出荷伝票No.、元伝票No.・元伝年月日などの自動照合に必要な項目をセットする
 - ・ 卸売業での不照合の要因には、訂正対象となる元伝票が分からない(照合キーが一致しない)ことが多い
 - ・ メーカーは、卸売業の卸発注伝票No.、元伝票No.、元伝年月日を必ず、請求データにセットする
- ⑥ 卸売業買掛金照合システムの構築
 - ・ 照合用データとして、日々の請求データを照合処理を実施する締日まで蓄積する
 - ・ 照合システムの構築(蓄積した請求データと自社の買掛データとの締日毎の照合はコンピュータシステムで行う)

Ⅲ. 請求データ・支払データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	請求データであることを表わす	[33 : 請求データ] [35 : 請求明細データ] [34 : 支払データ] [36 : 支払明細データ]	V1 V2 V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定 (センター登録マスターをチェックする)	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	メーカーが請求データ作成した西暦年月日を指定	[20160925]	V1/V2
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	メーカーが請求データ作成した時間を指定(時分秒)	[221500]	V2
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)拠点取引先名を指定(英数カナ)	[ニホン ショウジ]	V1/V2
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先名を指定(英数カナ)	[イズモ ショクビン トウキョウ]	V1/V2
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する(センター登録チ ェック) 変更しない場合はゼロを指定する	[02100022] [00000000]	V1/V2
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先(卸売業)の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[ニホン ショウジ 材カ] []	V1/V2
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]	V2
(12) 伝送区分 (文字1桁)	請求・支払データを伝送する場合のデータの発生区分 1 : 全部送信 (請求提供済データも送る) 2 : 違算分送信(前残再請求分データ) △ : 無指定	[1]	V2
(13) 集計明細区分 (文字1桁)	請求・支払データを明細または伝票集計での作成区分 △ : 明細単位で作成 1 : 伝票(集計)単位で作成	[]	V2
(14) 対象期間 (自) (数字 8桁)	請求・支払データの対象期間開始年月日(西暦)	[20160901]	V1/V2
(15) 対象期間 (至) (数字 8桁)	請求・支払データの対象期間終了年月日(西暦)	[20160930]	V1/V2
(16) 請求先コード (文字13桁)	卸売業の請求先取引先コード	[02100001]	V1/V2
支払元コード	卸売業の支払元取引先コード		
(17) 請求元コード (文字13桁)	メーカーの請求元の取引先コード	[03510011]	V1/V2
支払先コード	メーカーの支払先取引先コード		
(18) 請求元事業所コード (文字13桁)	メーカーの請求元事業所の取引先コード (プライベートコード可)	[08510021] [1100]	V2
支払先事業所コード	メーカーの支払先事業所の取引先コード		
(19) 請求先名 (文字 40桁) <V1 : 請求先カナ名> 支払元名	卸売業の請求先名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) 卸売業の支払元名を指定する	[イズモ ショクビン トウキョウ] [出雲商事 東京]	V1/V2 V2
(20) 請求元名 (文字 40桁) <V1 : 請求元カナ名> 支払先名	メーカーの請求元名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) メーカーの支払先名を指定する	[マツエ ショウテン] [松江商店]	V1/V2 V2
(21) 請求元事業所名 (文字 40桁) 支払先事業所名	メーカーの請求元事業所名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上) メーカーの支払先事業所名を指定する	[ヨコハマ シテン] [横浜支店]	V2 V2
(22) 取引先区分 (文字 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定	[]	V2
(22) 取引先区分(請求先)	6 : GLNコードを指定		取引先区分(支払元)
(23) 取引先区分(請求元)	7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定		取引先区分(支払先)
(24) 取引先区分(事業所)	8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定		

※ 請求先・請求元(支払元・支払先)はプライベート・コードは不可とする

(25) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/ 0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定	[]	V2
(25) 日本語区分(請求先)			日本語区分(支払元)
(26) 日本語区分(請求元)	(漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による)		日本語区分(支払先)
(27) 日本語区分(事業所)	(S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)		
(28) 請求先カナ名 (文字 30桁)	前記「請求先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
支払元カナ名	前記「支払元名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		
(29) 請求元カナ名 (文字 30桁)	前記「請求元名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
支払先カナ名	前記「支払先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		
(30) 支払日 (数字 8桁)	支払企業(卸売業)の支払予定日(西暦) (休日は意識した方がよい)	[20161031]	V1/V2
(31) 支払予定時間 (数字 4桁)	支払企業(卸売業)の支払予定時間(時分) (0000, 0800~2000)	[1000]	V2
(32) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(33) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V1フォーマット⇒V2フォーマットに自動変換された場合に 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]	V2

2. ヘッダー/明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 1伝票ヘッダーに対して、6明細を限度とする 明細行No.は(01~06)

(1) データ種別 (数字 2桁)	請求データであることを表わす	[33 : 請求データ] [35 : 請求明細データ] [34 : 支払データ] [36 : 支払明細データ]	V1 V2 V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカー)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2 : ヘッダーレコード] [4 : 明細レコード] [3 : ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (文字 1桁)	eお菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が セットされてくる(1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M)	(未登録は2 : JIS)	V2
(6) 卸発注伝票No. (数字 8桁)	卸売業が発注データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな発注No.をセットする (8桁) 卸発注伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00"をセットする (6桁)		V2
卸伝票NO (数字6桁)	V1フォーマットでは、卸伝票NO6桁とヘッダー予備欄(2桁)に 卸発注伝票No.8桁の上2桁を連携する		V1
(7) メーカー伝票No. (数字 8桁)	メーカーが出荷データを区別する為に、伝票ヘッダー単位に ユニークな出荷No.をセットする [00101011]		V2
<V1 : 6桁>	メーカー伝票No.を6桁管理する場合は、上2桁"00"をセットする [101011]		V1
(8) 店入直送区分 (数字 1桁)	店(倉)入れまたは直送等を判断する [1] 1 : 店入れ 卸売業倉入れ、センター納品等 2 : 直送 二次店納品等 3 : 店引取 卸売業がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、3→1に自動変換する) 4 : 直送引取 二次店等がメーカーに直接引き取りに来た場合 (V2→V1変換では、4→2に自動変換する)		V1/V2 V1/V2 V2 V1 V2 V1
(9) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-メーカー間の取引形態をあらわす(菓子業界統一取引コード) [11] 11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 12 : 店入売上訂正 21 : 店入返品 店入れ分の返品 22 : 店入返品訂正 31 : 直送売上 直送分の通常出荷 32 : 直送売上訂正 41 : 直送返品 直送分の返品 42 : 直送返品訂正 51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 52 : 相殺 売上相殺する場合		V1/V2
(10) 卸伝票年月日 (数字 8桁)	卸売業に納品された日(卸売業への着荷日) (西暦) [20160926] 卸売業がメーカーに引取りに来た引取日		V1/V2
(11) メーカー伝票年月日 (数字 8桁)	メーカーが実出荷した日(メーカーの出荷日) (西暦) [20160925] 卸売業がメーカーに引取りに来た引渡日		V1/V2
(12) 倉庫コード (文字 4桁)	メーカーの出荷倉庫を識別したい場合 (相対利用) [1825]		V2
(13) 出荷報告以外区分 (文字1桁)	請求・支払データの作成の時、出荷報告データとの関係を指定する 0 : 提供(出荷報告提供済データ) [0] 1 : 未提供(出荷報告未提供データ) 2 : 再請求(前残再請求分データ) △ : 無指定		V2
(14) 請求締日 (数字 8桁)	提供企業(メーカー)の請求最終締日(西暦) (休日を無視しても可能)	[20161031]	V2

(15) 請求口座 (文字10桁)	提供企業(メーカー)の請求口座コードを指定 (提供企業が設定、4~10桁で指定する)	[12345678]	V2
(16) 請求支払区分 (数字2桁)	請求・支払データのデータの発生区分を指定する 00 : 今回分請求・今回分支払 10 : 前回分請求・今回未払分 20 : 請求控除・支払控除 ※ V2フォーマットで、支払データの時は、請求データの請求支払区分をセットする	[00]	V1/V2
(17) 明細行数 (数字2桁)	1伝票ヘッダーに対する明細行の合計数(00,01~06) (伝票集計単位の時でも、[01]を指定する)	[04]	V2
(18) 一次店コード (文字13桁)	卸売業の請求取引先コード	[02100001]	V1/V2
<V1: 事業所コード>	卸売業の請求取引先コード	[02100001]	V1/V2
(19) 二次店コード (文字13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード ※ V1支払データには、二次店コードはなし	[03510011]	V1/V2 V2
(20) 三次店コード (文字13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード センター納品する場合のセンターの取引先コード (プライベートコード可)	[08510021] [1100]	V2
(21) 届け先コード (文字13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード	[02100001]	V1/V2
(22) チェーン店コード (文字13桁)	店舗コード (プライベートコード可)	[1011]	V2

	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)
・店入れ(倉入れ)	A卸売業			A卸売業	
・店入れ(卸支店倉入れ)	A卸売業			A卸B支店	
・店入れ(センター納品)	A卸売業		(納品センター)	A卸C支店	
・直送(二次店デポ納品)	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送(三次店デポ納品)	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送(二次スーパー店舗)	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送(二次スーパー店舗) (センター納品)	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	△	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)	※一次店/二次店/届け先は統一取引先コードのみ
		中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001~999)	
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001~9999)	
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(491234500001c)	※三次店/チェーンはGLNコード/プライベートコード可能
		事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)	
卸プライベートコード	7		3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
メーカープライベートコード	8		3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

※ V2⇔V1データ変換連携

	[V2フォーマット 13桁]	→	[V1フォーマット 8桁]	
統一取引先コード	1 2 3 4 5 6 7 8		1 2 3 4 5 6 7 8	
GLNコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13		6 7 8 9 10 11 12 13	(GLNコードのみ右詰め)
卸プライベートコード	1 2 3 4 5 6 7		1 2 3 4 5 6 7	
メーカープライベートコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10		1 2 3 4 5 6 7 8	

(23) 専用伝票日付 (数字8桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の日付 (西暦)	[20160926]	V2
(24) 専用伝票No. (数字9桁)	専用伝票がある場合の専用伝票No.	[123456789]	V2
(25) 元伝年月日 (数字8桁)	メーカーが訂正した元の伝票のメーカー出荷年月日(西暦)	[20160914]	V1/V2
(26) 元伝NO (数字8桁)	メーカーが訂正した元の伝票のメーカー伝票No.	[00123456]	V1/V2
(27) 請求金額合計符号 (文字1桁) <V1: 請求金額符号>	請求金額合計の符号 [△] / [+]: 正符号 [-]: 負符号	[+]	V1/V2
(28) 請求金額合計 (数字10桁) <V1: 請求金額>	明細の請求金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)	[0000094500]	V1/V2
(29) 支払金額合計符号 (文字1桁) <V1: 請求金額符号>	支払金額合計の符号 [△] / [+]: 正符号 [-]: 負符号	[+]	V1/V2
(30) 支払金額合計 (数字10桁) <V1: 請求金額>	明細の支払金額の伝票単位の合計金額 (※ 最終明細行のみセットでも良い) (※ex 01~03明細行:ゼロ、04明細行:合計をセットする)	[0000094500]	V1/V2
(31) 一次店名 (文字40桁) <V1: 一次店カナ名>	一次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	[イ*モ ショク*ン トウキョウ] [出雲商事 東京]	V2

(32) 二次店名 (文字 40桁) <V1: 二次店カナ名>	二次店名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	[マツエ ショウテン] [松江商店]	V2
(33) 三次店名 (文字 40桁)	三次店名(センター納品先名)を指定する 英数カナの場合(30文字) <届け先カナ名> 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	[ヤスキ ストア] [安来ストア]	V2
(34) 届け先名 (文字 40桁) <V1: 届け先カナ名>	届け先名を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	[マツエ ショウテン Aソウコ] [松江商店 A倉庫]	V1/V2 V2
(35) チェーン店名 (文字 40桁)	チェーン店名(店舗名)を指定する 英数カナの場合(30文字) 漢字の場合は、実質は15文字(伝票表示上)	[シジジ コテン] [宍道湖店]	V2
(36) 電話番号 (文字 15桁)	届け先の電話番号を指定する(“-”を含む)	[0852-92-3199]	V2
(37) 住所 (文字 80桁)	届け先の住所を指定する 英数カナ(60文字) 漢字の場合は、実質は30文字	[シマネケン マツエシ アカバゲイ 2-11-1] [島根県松江市青葉台2-11-1]	V2
(38) 摘要 (文字 50桁) <V1: 摘要欄>	伝票ヘッダー部の摘要の文字を指定する 英数カナ(50文字) 漢字の場合は、実質は25文字	[オンライン トクデンアリ ゴゼンチュウ ニ ノウヒン] [オンライン特伝あり 午前中に納品]	V1/V2 V2
(39) メーカー・コード (文字 9桁)	メーカー・コードを指定(7桁の場合は後ろスペース) (49xxxxx /45xxxxxxxx)	[4912345] [459123456]	V2
(40) メーカー所属組織名 (英数カナ文字 10桁)	メーカーの担当所属の組織名(英数カナ)を指定 (実質、運用上はスペースが多い)	[マツエ シテン]	V2
(41) 伝票区分 (数字 1桁)	伝票発行区分を指定する 0 : 菓子統一伝票 1 : フェンストア統一伝票 2 : 専用伝票(伝票No.あり) 3 : 専用伝票(伝票No.なし) 4 : フェンストア統一伝票(ターナラウンド用) 8 : 伝票レス	[0]	V1/V2
(42) 登録店区分 (文字 1桁)	メーカー登録店区分を指定する △ : 無指定 0 : 登録店以外 1 : 登録店	[0]	V1/V2
(43) 定番特売区分 (文字 1桁)	定番発注分/特売発注分かを指定する 0 : 定番 1 : 特売 △ : 分類不能	[0]	V2
(44) 消費税区分 (文字 1桁)	消費税の税区分を指定する 1 : 外税 2 : 内税 3 : 非課税 △ : 個別判断	[1]	V2
(45) 消費税率 (数字3桁)	消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) "050" : 消費税 : 5.0 %	[050]	V2
(46) ロット不足運賃負担区分 (文字 1桁)	発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分を指定 △ : 無指定 1 : 卸売業負担あり 2 : 卸売業負担なし	[]	V2
(47) 取引先区分 (文字 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定 6 : G L Nコードを指定 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定	[]	V2
(47) 取引先区分(一次店)			
(48) 取引先区分(二次店)			
(49) 取引先区分(三次店)			
(50) 取引先区分(届け先)			
(51) 取引先区分(チェーン店)			
(52) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △ / 0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/ I B M漢字/ J E F漢字/ J I S漢字)	[]	V2
(52) 日本語区分(一次店)			
(53) 日本語区分(二次店)			
(54) 日本語区分(三次店)			
(55) 日本語区分(届け先)			
(56) 日本語区分(チェーン店)			
(57) 日本語区分(住所)			
(58) 日本語区分(摘要)			
(59) 一次店カナ名 (文字 30桁)	前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(60) 二次店カナ名 (文字 30桁)	前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(61) 届け先カナ名 (文字 30桁)	前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(62) 摘要カナ (文字 30桁)	前記「摘要」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(63) ヘッダー予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(64) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に V1フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリア(20桁)を連携する (但し、請求明細データは連携しない。支払明細データは連携する) V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2
(65) 明細行No. (数字 2桁)	1伝票(ヘッダー)内の明細行No.を指定する(01~06) <V1: 行NO>	[01]	V2

(66)	専用伝票行No. (数字 2桁)	専用伝票がある場合の専用伝票の行No.を指定する (00~30)	[00]	V2
(67)	商品コード識別区分 (数字 1桁)	次の品番(商品コード)の識別区分を指定する	[品番へのセット値]	V2
0	統一商品コード メーカー・コードが7桁の場合 メーカー・コードが9桁の場合	[000]+[メーカー・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[0] [0]+[メーカー・コード 9桁]+[アイテム5桁]+[0]	[0004912345100010] [0491234567200020]	
1	ITFコード(14桁) メーカー・コードが7桁の場合 メーカー・コードが9桁の場合	[P]+[メーカー・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [P]+[メーカー・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018]	
3	JANコード(標準:13桁) メーカー・コードが7桁の場合 メーカー・コードが9桁の場合	[メーカー・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [メーカー・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]	[4912345100030] [4912345672032]	
4	JANコード(短縮:8桁)	[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[49778816]	
6	GTINコード(14桁) ITF: メーカーCDが7桁の場合 ITF: メーカーCDが9桁の場合 JAN: メーカーCDが7桁の場合 JAN: メーカーCDが9桁の場合 JAN(短縮:8桁)の場合	[P]+[メーカー・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [P]+[メーカー・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [0]+[メーカー・コード 7桁]+[アイテム5桁]+[C] [0]+[メーカー・コード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C]	[14912345100013] [14912345671018] [04912345100030] [04912345672032] [00000049778816]	
(68)	品番 (文字 16桁)	上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする		V2
(69)	商品名 (文字 50桁)	商品名を表記する (規格表示+商品固有名称) (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) (漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行)	[XXXXX 75G ミルクチョコレート] [X X 75 g ミルクチョコ]	V2
(70)	包装区分 (数字 1桁)	数量の請求(支払)単位を指定する 1: ケース請求(支払) (外箱/カルトン) 2: ボール請求(支払) (内箱) 3: バラ請求(支払) (単品)	[1] [2] [3]	V2
(71)	ボール内バラ数 (数字 6桁) (小数点以下2桁)	ボール(内箱)内の単品の入数 (小数点以下2桁)		V2
(72)	ケース内ボール数 (数字 2桁)	ケース(外箱)内のボール(内箱)の入数 <ボール内バラ数> <ケース内ボール数> (1: ケース請求(支払)の時) [001200] [06] (2: ボール請求(支払)の時) [001200] [00] (3: バラ請求(支払)の時) [000000] [00]	<バラ換算数量> [ケース数×72] [ボール数×12] [バラ数×1]	V2
(73)	数量符号 (文字 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V2
(74)	ケース数量 (数字 7桁)	(1: ケース請求(支払)の時に、ケース数量を指定する) (ボール/バラ請求(支払)の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]	V2
(75)	ボール数量 (数字 7桁)	(2: ボール請求(支払)の時に、ボール数量を指定する) (ケース/バラ請求(支払)の時はゼロをセットする)	[0000002] [0000000]	V2
(76)	バラ数量 (数字 9桁) (小数点以下2桁)	(3: バラ請求(支払)の時に、バラ数量を指定する) (ケース/ボール請求(支払)の時に、バラ換算数量を指定する)	[0000010] [0000120]	V2
(77)	請求単価 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	請求単価(建値)を指定する (バラ単価を指定)	[00008400]	V2
(78)	支払単価 (数字 8桁) (小数点以下2桁)	支払単価を指定する (バラ単価を指定)	[00008400]	V2
(79)	請求金額符号 (文字 1桁)	請求金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V2
(80)	請求金額 (数字 10桁)	(請求単価×バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00010800]	V2
(81)	支払金額符号 (文字 1桁)	支払金額の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V2
(82)	支払金額 (数字 10桁)	(支払単価×バラ数量) (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)	[00010800]	V2
(83)	商品添付区分 (文字 1桁)	相対の運用で、添付商品扱いを指定する場合 △ : 通常商品 (通常、単価/金額はゼロ以外となる) 1 : 現物添付 (通常、単価/金額はゼロとなる) 2 : 見本 (通常、単価/金額はゼロとなる) 3 : 景品 (通常、単価/金額はゼロとなる)	[]	V2
(84)	支払区分 (数字 2桁)	支払データのデータの発生区分 00 : 今回支払分 <請求データの時は、“00”をセットする> 01 : 今回未払分	[00]	V2
(85)	入荷単位ケース数 (数字 2桁)	荷合せ品等の最小発注単位ケース数を指定する (一般品の場合は、00または01をセットする)	[00] [03]	V2
(86)	単価計算区分 (文字 1桁)	単価×数量の計算方法を指定する(小数点以下端数の計算処置方法) △ : 切り捨て 1 : 切り上げ 2 : 4捨5入	[]	V2
(87)	卸発注行番号 (数字 2桁)	卸売業での発注伝票行No.を指定 (00, 01~99)	[] [07]	V2

(88) 卸最新在庫日付区分 (文字 1桁)	卸最新在庫日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 [] 1 : 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 [1] 2 : 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 [2]		V2
(89) 卸最新在庫日付 (数字 8桁)	卸売業が前回迄に納入された最新在庫の日付を指定する 未使用 卸最新在庫日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 卸最新在庫日付を製造日で表記する場合 [20161018] 賞味期限 卸最新在庫日付を賞味期限で表記する場合 [20171018] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20171031]		V2
(90) 入庫許容日付区分 (文字 1桁)	入庫許容日付の日付区分を指定する (相対運用) △ : 未使用 入庫許容日付運用をしない場合 [] 1 : 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 [1] 2 : 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 [2]		V2
(91) 入庫許容日付 (数字 8桁)	入庫許容日付を指定する (相対運用) 未使用 入庫許容日付の運用をしない場合 [00000000] 製造日 入庫許容日付を製造日で表記する場合 [20170118] 賞味期限 入庫許容日付を賞味期限で表記する場合 [20150118] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20150131]		V2
(92) 実入庫製品日付区分 (文字 1桁)	実入庫製品日付の日付区分を指定 (相対運用) △ : 未使用 実入庫した製品日付運用をしない場合 [] 1 : 製造日 実入庫した製品の日付を製造日で表記する場合 [1] 2 : 賞味期限 実入庫した製品の日付を賞味期限で表記する場合 [2]		V2
(93) 実入庫製品日付 (数字 8桁)	メーカーが実入庫した製品の日付を指定する (相対運用) 未使用 実入庫した製品日付運用をしない場合 [00000000] 製造日 実入庫した製品の日付を製造日で指定する [20170118] 賞味期限 実入庫した製品の日付を賞味期限で指定する [20150118] (賞味期限月表示の場合は、月末最終日を指定) [20150131]		V2
(94) 製造ロット番号 (文字10桁)	実入庫した製品のロット番号を指定する (相対運用) [2016053103]		V2
(95) 温度管理区分 (文字 1桁)	該当商品の温度帯管理区分を指定する [] △/0 : 常温 1 : 28℃以下 2 : 20℃以下 3 : 冷蔵(10℃以下) 4 : 冷凍(-15℃以下) (チルド : 5℃以下)		V2
(96) 製品容器区分 (文字 1桁)	該当商品の製品・容器かを指定する [] △/0 : 製品 1 : 容器		V2
(97) 外箱GTINコード (文字 14桁)	実際に入庫する外箱のITFコードを指定する [14912345000016] ケースの場合 : ケースのGTINをセットする ボールの場合 : ボールのGTINをセットする (運用上、単品GTINでも可)		V2
(98) 摘要 (文字 50桁)	明細部の摘要の文字を指定する 英数カナ(50文字) [イブ ケッピン アリ] 漢字の場合は、実質は25文字 [一部欠品あり]		V2
(99) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、e お菓子ねっとセンター登録による) (S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)		V2
(99) 日本語区分(商品名)			
(100) 日本語区分(摘要)			
(101) 菓子業界商品分類コード (文字 6桁)	菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する [132335]		V2
(102) 割戻1(2/3) : 割戻計算区分 (文字 1桁)	割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分 [131011] △ : 切り捨て [] 1 : 切り上げ 2 : 4捨5入		V2
(103) 割戻1(2/3) : 割戻区分 (文字 1桁)	割戻の条件区分を指定する (相対で運用) [] △ : 指定なし [1] 1~9 : 相対でコード設定する		V2
(104) 割戻1(2/3) : 割戻基準 (文字 1桁)	割戻の基準の区分を指定する (相対で運用) [] △ : 割戻率 [1] 1 : 割戻単価 2 : 割戻金額		V2
(105) 割戻1(2/3) : 割戻率/単価 (数字6桁)	(少数点以下2桁) (相対で運用) 割戻率 : 割戻率を右詰めで指定 [4.5%] [000450] 割戻単価 : 割戻単価を銭単位で指定 [3.6円] [000360] 割戻金額 : ゼロを指定 [000000]		V2
(106) 割戻1(2/3) : 割戻符号 (文字 1桁)	割戻金額の符号を指定 [+] △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)		V2
(107) 割戻1(2/3) : 割戻金額 (数字8桁)	割戻金額を円単位で指定 (相対で運用) [00000125] (割戻計算結果を金額で指定 (円単位))		V2
(108) 割戻1(2/3) : 割戻コード (文字 5桁)	割戻の種類を表示する時に指定す (相対で運用) [1101] 運賃補助の種類、キャンペーン・コード等を指定 [1]		V2
(109) ~ (115) 割戻1に同じ			V2
(116) ~ (122) 割戻1に同じ			V2

(123) 商品名カナ (文字 25桁)	前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する (英数カナ：25文字) (伝票上：24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]	V2
(124) 明細部予備	原則、スペース・クリアーとする	V1/V2
(125) 明細部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に V1フォーマットの明細レコードの予備エリア(3桁)を連携する (但し、請求明細データは連携するが、支払明細データは連携しない) V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	V2

※ 集計明細区分=1(集計)の場合の運用

集計明細区分	1：集計 (伝票集計)
請求金額合計	請求金額合計 (伝票合計)
支払金額合計	支払金額合計 (伝票合計)

明細行No.	01 (1行目のみ)
商品コード識別区分	0：(統一商品コード)
品番	ALL "9" 16桁 を 指定 (9999999999999999)
商品名	"デニビョウ シュケイ"
包装区分	1：ケース
ボール内バラ数	"000100"
ケース内ボール数	"00"
ケース数量	"0000001"
ボール数量	"0000000"
バラ数量	"000000001"
請求単価	"00000100"
支払単価	"00000100"
請求金額	請求金額合計 (伝票合計)
支払金額	支払金額合計 (伝票合計)

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード(1件)を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	請求データであることを表わす	[33：請求データ] [35：請求明細データ] [34：支払データ] [36：支払明細データ]	V1 V2 V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先(卸売業)拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元(メーカ)の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす	[9]	V1/V2
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く)	[000545]	V1/V2
(6) 伝票枚数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの明細行No.=01の件数	[000120]	V1/V2
(7) 前回請求残高符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の前回請求残高の符号を指定する △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(8) 前回請求残高 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の前回請求残高の合計金額を指定する	[00000010650]	V1/V2
(9) 今回請求金額符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の今回請求金額の符号を指定する △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(10) 今回請求金額 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の今回請求金額の合計金額を指定する	[00001200650]	V1/V2
(11) 請求基本控除符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の請求基本控除の符号を指定する △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(12) 請求基本控除 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の請求基本控除の合計金額を指定する	[00000004650]	V1/V2
(13) 請求品種控除符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の請求品種控除の符号を指定する △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(14) 請求品種控除 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の請求品種控除の合計金額を指定する	[00000002550]	V1/V2
(15) 請求機能控除符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の請求機能控除の符号を指定する △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(16) 請求機能控除 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の請求機能控除の合計金額を指定する	[00000000000]	V1/V2
(17) 請求控除その他符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の請求控除その他の符号を指定する △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(18) 請求控除その他 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の請求控除その他の合計金額を指定する	[00000000000]	V1/V2
(19) 請求消費税符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の請求消費税の符号を指定する △/+：整数 (プラス) -：負数(マイナス)	[+]	V1/V2

(20) 請求請求消費税 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の請求消費税の合計金額を指定する	[00000095476]	V1/V2
(21) 請求金額合計符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の請求金額合計の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(22) 請求金額合計 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の請求金額合計の合計金額を指定する	[00001299576]	V1/V2
※ 請求金額合計	= (8) + (10) - (12) - (14) - (16) - (18) + (20)		
(23) 前回支払残高符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の前回支払残高の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(24) 前回支払残高 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の前回支払残高の合計金額を指定する	[00000082450]	V1/V2
(25) 今回支払金額符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の今回支払金額の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(26) 今回支払金額 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の今回支払金額の合計金額を指定する	[00001100250]	V1/V2
(27) 支払基本控除符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の支払基本控除の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(28) 支払基本控除 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の支払基本控除の合計金額を指定する	[00000005500]	V1/V2
(29) 支払品種控除符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の支払品種控除の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(30) 支払品種控除 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の支払品種控除の合計金額を指定する	[00000003850]	V1/V2
(31) 支払機能控除符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の支払機能控除の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(32) 支払機能控除 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の支払機能控除の合計金額を指定する	[00000000000]	V1/V2
(33) 支払控除その他符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の支払控除その他の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(34) 支払控除その他 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の支払控除その他の合計金額を指定する	[00000000000]	V1/V2
(35) 支払消費税符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の支払消費税の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(36) 支払支払消費税 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の支払消費税の合計金額を指定する	[00000087272]	V1/V2
(37) 支払金額合計符号 (文字 1桁)	コントロール～トレー間の支払金額合計の符号を指定する △/+ : 整数 (プラス) - : 負数(マイナス)	[+]	V1/V2
(38) 支払金額合計 (数字 11桁)	コントロール～トレー間の支払金額合計の合計金額を指定する	[00001260622]	V1/V2
※ 支払金額合計	= (24) + (26) - (28) - (30) - (32) - (34) + (36)	[1111-2222-3333-4444]	
(39) 振込 I D (文字 20桁)	自動支払振込を行った場合の振込 I D を指定する ※支払データのみ使用		V1/V2
(40) 予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(41) 連携エリア (英数カナ文字 20桁)	V 1 フォーマット⇒V 2 フォーマットに自動変換された場合に 予備エリアの先頭20桁がセットされる(相対で使用) (但し、請求明細データは連携するが、支払明細データは連携しない) V 2 フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2
		[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	

I. システムの目的とねらい

販売報告データは、卸売業がメーカーに対して、小売店等への販売実績を提供し、メーカーは、販売報告データをマーケティング情報・販売促進活動等に活用する

1. データの利用目的

- ① 諸契約の実績として活用・・・期間契約費、販売促進費、割戻し等の算出基礎となる
- ② マーケティングデータとして活用
 - ・実績進捗管理として、地域別、企業別、店舗別、商品別に情報提供する
 - ・商談、販売対策立案、新製品動向把握 に活用する

2. データ提供サイクル

- ① 卸店は、メーカーの要望により、下記のいずれかで提供する。
 - ・日次 日次明細データ 3日後程度で提供
 - ・旬次 旬次集計データ 5日後程度で提供
 - ・月次 月次集計データ 10日後程度で提供(年末・年始のデータの取り扱いは、当事者間で協議する)
- ② データの発生単位は、当事者間で協議する
 - ・小売業または卸売業でのデータ発生単位での提供
 - ・店舗別／製品別単位で集計しての提供

II. システム運用方法

1. ネットワーク

- ① eお菓子ねっとセンター経由で、データの授受を行う
- ② 卸売業より、販売報告データをeお菓子ねっとセンターに送信する
(1回の送信で、複数のメーカーへの送信が可能であるが、データ量には注意する)
- ③ メーカーは、eお菓子ねっとセンターより、自社宛の販売報告データを受け取る
(1回の受信で、複数の卸売業からの販売報告データの受信が可能である)
- ④ ネットワークの種類
 - ・全銀TCP/IP手順(電話回線(公衆/ISDN))
 - ・次世代インターネット手順(インターネット利用(ebXML MS/JX))
 - ・Web2008システム(インターネット利用)

2. データの授受

- ・通常、卸売業からeお菓子ねっとセンターに送信完了後、ほぼ30分以内に、メーカーが受信可能となる
(ピーク時間帯は、最大60分程度要する)

3. 訂正連絡

- ・一定のルールを決めて、電話・FAX・メール等で、メーカーから卸売業へ連絡する
- ・データによる一部訂正か、全訂正か、運用を相対で決める(追加訂正を原則とする)

4. 運用確認事項

- ① データの提供
 - ・メーカーからの要望により、卸売業は日次・旬次・月次での処理を行う。
 - ・双方のシステム稼働日を1ヶ月前に文書・メール等で確認し、年末・年始・休日の扱いの運用方法を決める
 - ・1日分のデータが2日に別れて提供される場合がある
 - ・利用者との休日が合わない場合でも、eお菓子ねっとに送信することが出来るが、運用締日等には注意する
- ② テスト方法
 - ・店舗別売上明細表等との詳細チェックを行い、情報の伝達漏れの無いよう確認する
- ③ 店舗別売上明細表等の廃止
- ④ 運用ルールを明確にする
 - (1) データ作成時期
 - ・販売報告データの作成時期、作成単位を決定し、月の締日運用等も考慮する
 - (2) コード管理
 - ・利用する商品コード・取引先コードの改廃等の連絡方法を明確にしておく
 - (3) トラブル対応
 - ・提供者がデータの漏れ、重複の発生に気付いた場合は、直ちに利用者に連絡を取り対処方法を明確にする
 - ・利用者がエラーを発見した場合は、提供者に連絡し、提供者が赤・黒訂正を行う
 - ・送受信データに相違がある場合は、利用者・提供者双方でデータの照合を行い、問題を解決する
- ⑥ メーカー売上管理システムの構築
 - ・旬次・月次に売上実績把握を行う場合はその締日まで、販売報告データを蓄積して、一括更新する
 - ・日次に売上実績把握を行う場合は、日々、売上管理システムに更新する
 - ・売上管理システムの構築
 - (蓄積した販売報告データを、日々または締日毎に売上管理システムに繰り入れる)

Ⅲ. 販売報告データ

1. コントロール・レコード

※ 送信元と送信先単位の先頭レコード（1件）を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[42 : 販売報告データ] [43 : 販売報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードを指定 （センター登録マスターをチェックする）	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元（卸売業）拠点取引先コードを指定 （センター登録マスターをチェックする）	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	コントロール・レコードであることを表わす	[1]	V1/V2
(5) データ作成日付 (数字 8桁)	卸売業が販売報告データ作成した西暦日付を指定	[20160925]	V1/V2
(6) データ作成時刻 (数字 6桁)	卸売業が販売報告データ作成した時間を指定（時分秒）	[221500]	V2
(7) 送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先名を指定（英数カナ）	[イモ ショクビ トウキョウ]	V1/V2
(8) 送信元名 (英数カナ 20桁)	送信元（卸売業）拠点取引先名を指定（英数カナ）	[ニホン ショウジ]	V1/V2
(9) 直接送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する（センター登録チェック） 変更しない場合はゼロを指定する	[02100011] [00000000]	V1/V2
(10) 直接送信先名 (英数カナ 20桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードと異なる 拠点取引先コードに送信する場合に指定する 変更しない場合はスペースを指定する	[イモ ショクビ 材カ]	V1/V2
(11) 送信ファイルNo. (数字 2桁)	同時送信時の問合せNo.を表記したい場合は指定する 同時送信時の問合せNo.を表記しない場合はゼロ指定	[01~99] [00]	V2
(12) 予 備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(13) 連携エリア (英数カナ 20桁)	V1フォーマット⇄V2フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	V2

2. ヘッダー／明細レコード

※ 伝票ヘッダー情報と5明細情報を一体化したレコードを作成する

※ 明細データのセットを行わない場合（販売報告データの横持ちの設定要領）

⇒無効な明細は明細全体でスペースをセットする

(ex. 2明細まで有効 → 3明細目~5明細目は全体をスペースセット)

※ 1伝票ヘッダーに対して、max999明細を限度とする 明細行No.は(001~999)

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[42 : 販売報告データ] [43 : 販売報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカー）の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元（卸売業）拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	ヘッダー明細レコードであることを表わす	[2 : ヘッダーレコード] [4 : 明細レコード] [3 : ヘッダー明細]	V1 V1 V2
(5) 漢字コード区分 (文字 1桁)	●お菓子ねっとセンターに登録された漢字コード区分が セットされてくる（1 : S-JIS、2 : J I S、3 : J E F、4 : I B M） （未登録は2 : JIS）		V2
(6) 対象期間（自） (数字 8桁)	販売実績の該当年月日（開始日）（西暦） 日次：売上日、旬次：旬初日、月次：月初日	[20160901]	V1/V2
(7) 対象期間（至） (数字 8桁)	販売実績の該当年月日（終了日）（西暦） 日次：売上日、旬次：旬末日、月次：月末日	[20160930]	V1/V2
(8) 取引コード (数字 2桁)	卸売業-小売業間の取引形態をあらわす（菓子業界統一取引コード） 11 : 店入売上 店入れ分の通常出荷 21 : 店入返品 店入れ分の返品 31 : 直送売上 直送分の通常出荷 41 : 直送返品 直送分の返品 51 : 割戻し金 割戻し金処理する場合 12 : 店入売上訂正 22 : 店入返品訂正 32 : 直送売上訂正 42 : 直送返品訂正 52 : 相殺 売上相殺する場合		V1/V2
(9) 一次店コード (文字13桁)	卸売業の請求先取引先コード	[02100001]	V1/V2
(10) 二次店コード (文字13桁)	直送する場合の二次店の取引先コード	[03510011]	V1/V2
(11) 三次店コード (文字13桁)	直送する場合の三次店の取引先コード センター納品する場合のセンターの取引先コード （プライベートコード可）	[08510021] [1100]	V2
(12) 届け先コード (文字13桁)	通常は、納品する届け先の取引先コード センター納品する場合は売上帰属支店の取引先コード	[02100001]	V1/V2
(13) チェーン店コード (文字13桁)	店舗コード（プライベートコード可）	[1011]	V2

	<一次店>	<二次店>	(三次店)	<届け先>	(チェーン店)
・店入れ（倉入れ）	A卸売業			A卸売業	
・店入れ（卸支店倉入れ）	A卸売業			A卸支店	
・店入れ（センター納品）	A卸売業		(納品センター)	A卸C支店	
・直送（二次店デポ納品）	A卸売業	C二次店		C二次店デポ	
・直送（三次店デポ納品）	A卸売業	C二次店	D三次店	D三次店デポ	
・直送（二次スーパー店舗）	A卸売業	C二次店		D二次スーパー	E店舗
・直送（二次スーパー店舗 （センター納品）	A卸売業	C二次店	(納品センター)	D二次スーパー	E店舗

<取引先コード定義>

統一取引先コード	△	上1桁目	1桁	0:通常	(0/8/9)	※一次店/二次店/届け先は 統一取引先コードのみ
		中3桁	3桁	郵便番号上3桁	(001~999)	
		下4桁	4桁	登録順連番	(0001~9999)	
GLNコード (国際標準事業所コード)	6	事業所コード7桁	13桁	事業所コード7桁+ロケーション5桁+C/D	(49123450001c)	※三次店/チェーンは GLNコード/ プライベートコード可能
		事業所コード9桁	13桁	事業所コード9桁+ロケーション3桁+C/D	(491234567001c)	
卸プライベートコード	7		3~13桁	卸指定の取引先コード(送信元)	0123/0123456789	
メーカープライベートコード	8		3~13桁	メーカー指定の取引先コード(送信元)	012/012345679	

※ V2⇔V1データ変換連携

[V2フォーマット 13桁]

[V1フォーマット 8桁]

統一取引先コード	1 2 3 4 5 6 7 8	→	1 2 3 4 5 6 7 8	
GLNコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	→	6 7 8 9 10 11 12 13	(GLNコードのみ右詰め)
卸プライベートコード	1 2 3 4 5 6 7	→	1 2 3 4 5 6 7	
メーカープライベートコード	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	→	1 2 3 4 5 6 7 8	

(14) 一次店名 (文字 40桁)	一次店名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上)	[イ`モ ショクビントウキョウ] [出雲商事 東京]	V2
(15) 二次店名 (文字 40桁)	二次店名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上)	[マツエ ショウテン] [松江商店]	V2
(16) 三次店名 (文字 40桁)	三次店名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上)	[ヤスキ ストア] [安来ストア]	V2
(17) 届け先名 (文字 40桁)	届け先名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上)	[マツエ ショウテン Aアウコ] [松江商店 A倉庫]	V1/V2 V2
(18) チェーン店名 (文字 40桁)	チェーン店名を指定する 英数カナの場合 (30文字) 漢字の場合は、実質は15文字 (伝票表示上)	[シンジ コテン] [宍道湖店]	V2
(19) 消費税区分 (文字 1桁) < V1: 税区分 >	消費税の税区分を指定する 1 : 外税 2 : 内税 3 : 非課税 Δ : 個別判断	[1]	V1/V2
(20) 消費税率 (数字3桁) < V1: 税率 >	消費税率を指定する 99.9 % (小数点以下1桁) "050" : 消費税 : 5.0 %	[080]	V1/V2
(21) 取引先区分 (文字 1桁)	該当の項目の取引先の属性区分を指定する △ : 統一取引先コードを指定 または 無指定 6 : GLNコードを指定 7 : 該当卸売業のプライベート・コードを指定 8 : 該当メーカーのプライベート・コードを指定	[]	V2
(22) 取引先区分(一次店)	※ 一次店、二次店、届け先はプライベート・コードは不可とする		
(23) 取引先区分(二次店)			
(24) 取引先区分(三次店)			
(25) 取引先区分(届け先)			
(26) 取引先区分(チェーン店)			
(26) 日本語区分 (文字 1桁)	該当の項目の日本語の区分を指定する △/0 : 英数カナを指定 または 無指定 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、eお菓子ねっととセンター登録による) (S-JIS漢字/IBM漢字/JEF漢字/JIS漢字)	[]	V2
(27) 日本語区分(一次店)			
(28) 日本語区分(二次店)			
(29) 日本語区分(三次店)			
(30) 日本語区分(届け先)			
(31) 一次店カナ名 (文字 30桁)	前記「一次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(32) 二次店カナ名 (文字 30桁)	前記「二次店名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(33) 届け先カナ名 (文字 30桁)	前記「届け先名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する		V2
(34) ヘッダー予備	原則、スペース・クリアーとする		V1/V2
(35) ヘッダー部(連携エリア) (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇔V2フォーマットに自動変換された場合に V1フォーマットのヘッダー・レコードの予備エリア(20桁)を連携する V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2

※ 明細データのセットを行わない場合（販売報告データの横持ちの設定要領）
 ⇒無効な明細は明細全体をスペースにセットする
 ex. 2明細まで有効 → 3明細目～5明細目は全体を半角スペースをセットする

- (36) 明細行No. (数字 3桁) 1ヘッダー内の明細行No.を指定する (001~999) [01] V2
- (37) 商品コード識別区分 (数字 1桁) 次の品番 (商品コード) の識別区分を指定する [品番へのセット値例] V1/V2
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 0 | 統一商品コード
メーカー・コードが7桁の場合 [000]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[0]
メーカー・コードが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム5桁]+[0] | | [0004912345100010]
[0491234567200020] |
| 1 | ITFコード (14桁)
メーカー・コードが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C]
メーカー・コードが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] | | [14912345100013]
[14912345671018] |
| 3 | JANコード (標準: 13桁)
メーカー・コードが7桁の場合 [メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C]
メーカー・コードが9桁の場合 [メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C] | | [4912345100030]
[4912345672032] |
| 4 | JANコード (短縮: 8桁) [メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] | | [49778816] |
| 6 | GTINコード (14桁)
ITF: メーカーCDが7桁の場合 [P]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C]
ITF: メーカーCDが9桁の場合 [P]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]
JAN: メーカーCDが7桁の場合 [0]+[メーカーコード 7桁]+[アイテム5桁]+[C]
JAN: メーカーCDが9桁の場合 [0]+[メーカーコード 9桁]+[アイテム3桁]+[C]
JAN (短縮: 8桁)の場合 [000000]+[メーカー識別6桁]+[アイテム1桁]+[C] | | [14912345100013]
[14912345671018]
[04912345100030]
[04912345672032]
[00000049778816] |
- (38) 品番 (文字 16桁) 上記、商品コード識別区分に基づいた値をセットする V1/V2
- (39) 商品名 (文字 50桁) 商品名を表記する (規格表示+商品固有名称)
 (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行) [XXXXX 75G ミルクチョコレート]
 (漢字: 20文字) (伝票上: 12文字/行) [X X 75 g ミルクチョコ] V1/V2
V2
- (40) バラ総数符号 (文字 1桁) 以下の数量の符号を指定 [+] V1/V2
- △/+ : 整数 (プラス)
- : 負数 (マイナス)
- (41) バラ総数 (数字 9桁) 販売バラ換算数量を指定する [000000480] V1/V2
 ※ 下記、ケース(ボール)数量を指定した時も、バラ換算数量は必ず指定する
- (42) ケース(ボール)当り入数 (数字 4桁) ケース(外箱)内の単品(バラ)の入数 [0120] V2
 ボール(内箱)内の単品(バラ)の
- (43) ケース(ボール)数量 (数字 7桁) ケース単位の時に、販売ケース数量を指定する [0000004]
 ボール単位の時に、販売ボール数量を指定する [0000000] V2
- (44) 販売単価区分 (文字 1桁) 単価がケース単価か、ボール単価か、バラ単価を指定する V2
- △/3 : バラ単価 []
1 : ケース単価 [1]
2 : ボール単価 [2]
- (45) 単価 (数字9桁)(小数点以下2桁) 前記単位の単価 [000007700] V1/V2
 (バラ単価/ケース単価/ボール単価)
- (46) 金額符号 (文字 1桁) 以下の金額の符号を指定 [+] V1/V2
- △/+ : 整数 (プラス)
- : 負数 (マイナス)
- (47) 金額 (数字10桁) (単価 * 数量 (バラ総数 or ケース数量)) [0000036960] V1/V2
 (小数点以下は切捨て) (通常: 外税)
- (48) 定番特売区分 (文字 1桁) 定番発注/特売発注を指定する [0] V2
 0 : 定番 1 : 特売 △ : 分類不能
- (49) 納品日 (数字 8桁) 小売業等へ納品した日 (西暦) [20160926] V2
- (50) 倉出・合計区分 (文字 1桁) 実績が倉出しを含むか、直送のみかを指定 [0] V2
 △ : 無指定
0 : 倉出し+直送 1 : 倉出しのみ
- (51) 日本語区分 (文字 1桁) 該当の項目の日本語の区分を指定する V2
 △/0 : 英数カナを指定 または 無指定
日本語区分 (商品名) 1 : 漢字を指定 (漢字のコードは、eお菓子ねっとセンター登録による)
 (S-JIS漢字/I BM漢字/J E F漢字/J I S漢字)
- (52) 菓子業界商品分類コード (文字 6桁) 菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録) を指定する [132335] V2
- (53) 商品名カナ (文字 25桁) 前記「商品名」に漢字を指定した場合に、英数カナ文字を指定する [XXXXX 75G ミルクチョコレート] V2
 (英数カナ: 25文字) (伝票上: 24文字/行)
- (54) 明細予備 原則、スペース・クリアーとする V1/V2

3. トレーラー・レコード

※ 送信元と送信先単位の最終レコード（1件）を作成する

(1) データ種別 (数字 2桁)	販売報告データであることを表わす	[42 : 販売報告データ] [43 : 販売報告データ]	V1 V2
(2) 送信先コード (数字 8桁)	送信先（メーカ）の拠点取引先コードを指定	[01010001]	V1/V2
(3) 送信元コード (数字 8桁)	送信元（卸売業）拠点取引先コードを指定	[02841001]	V1/V2
(4) レコード区分 (数字 1桁)	トレーラー・レコードであることを表わす	[9]	V1/V2
(5) レコード件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの件数 (コントロール・レコードとトレーラー・レコードを除く)	[000545]	V1/V2
(6) 明細件数 (数字 6桁)	ヘッダー明細レコードの有効明細行の総件数	[001920]	V1/V2
(7) 合計金額符号 (文字 1桁)	以下の数量の符号を指定 △/+ : 整数 (プラス) - : 負数 (マイナス)	[+]	V1/V2
(8) 合計金額 (数字 10桁)	ヘッダー明細レコードの卸店入金額の合計を集計する	[0001200650]	V1/V2
(9) 予 備	原則、スペース・クリアーとする	[xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx]	V1/V2
(10) 連携エリア (英数カナ文字 20桁)	V1フォーマット⇄V2フォーマットに自動変換された場合にも 予備エリアの連携は行わない V2フォーマット同士では、相対で、特別な連携エリアとして利用可能である		V2